

(様式第 10)

口大総第 279 号  
平成 26 年 10 月 2 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人山口大学長  
岡 正 郎

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 25 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1
氏 名	国立大学法人山口大学長 岡 正郎

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

山口大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1	電話(0836)22-2007
-----------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 ②医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等 1 呼吸器内科 2 消化器内科 3 循環器内科 4 神経内科 5 アレルギー科 6 リウマチ科		
診療実績		

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名 1 呼吸器外科 2 消化器外科 3 心臓血管外科 4 小児外科		
診療実績		

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8産科 9婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 ⑬麻酔科 ⑭救急科
---

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科口腔外科		
歯科の診療体制		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 心療内科 2 臨床検査科 3 病理診断科
------------------------

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
51床	0床	0床	0床	685床	736床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	240人	99人	319.2人	看 護 補 助 者	69人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	10人	13人	20.4人	理 学 療 法 士	8人	臨床検査技師	59人
薬 剤 師	42人	1人	42.7人	作 業 療 法 士	3人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	7人	そ の 他	0人
助 産 師	25人	0人	0人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	649人	29人	672人	臨 床 工 学 技 師	11人	医療社会事業従事者	3人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	3人	その他の技術員	44人
歯 科 衛 生 士	1人	2人	2.5人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	223人
管理栄養士	9人	0人	9人	診 療 放 射 線 技 師	34人	そ の 他 の 職 員	40人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	10人	眼 科 専 門 医	11人
外 科 専 門 医	35人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	11人
精 神 科 専 門 医	5人	放 射 線 科 専 門 医	15人
小 児 科 専 門 医	13人	脳 神 経 外 科 専 門 医	13人
皮 膚 科 専 門 医	6人	整 形 外 科 専 門 医	14人
泌 尿 器 科 専 門 医	11人	麻 酔 科 専 門 医	12人
産 婦 人 科 専 門 医	10人	救 急 科 専 門 医	13人
		合 計	179人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	579.6人	18.4人	595.4人
1日当たり平均外来患者数	1,220.7人	67.5人	1,288.2人
1日当たり平均調剤数			2,695 剤
必要医師数			133.16人
必要歯科医師数			7人
必要薬剤師数			34人
必要(准)看護師数			347人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

### 9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	有・無
集中治療室	252 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	12床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 135.1 m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 4台		病床数		12床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 47 m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	435 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学血液検分析装置及びライン			
細菌検査室	107 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、オートクーブ、細菌固定感受性装置			
病理検査室	270 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 卓上フード型局所排気装置、自動包埋装置、自動染色装置			
病理解剖室	479 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 剖検台、写真撮影装置、煮沸滅菌器			
研究室	10,545 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 光トモグラフィ装置、遺伝子発現解析システム、GenchipScanner3000			
講義室	1837 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	10室	収容定員	1,284人
図書室	604 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	18室	蔵書数	16万冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

### 10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成25年4月1日～平成26年3月31日	
紹介率	75.4%	逆紹介率	49.6%
算出根拠 A: 紹介患者の数	10,353人		
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,594人		
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,204人		
D: 初診の患者の数	15,308人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	45人	・膿疱性乾癬	6人
・多発性硬化症	71人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・重症筋無力症	66人	・原発性胆汁性肝硬変	53人
・全身性エリテマトーデス	136人	・重症急性膵炎	13人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	56人
・再生不良性貧血	23人	・混合性結合組織病	20人
・サルコイドーシス	84人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	26人	・特発性間質性肺炎	3人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	127人	・網膜色素変性症	19人
・特発性血小板減少性紫斑病	44人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	28人	・肺動脈性肺高血圧症	8人
・潰瘍性大腸炎	140人	・神経線維腫症	15人
・大動脈炎症候群	18人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	21人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	10人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	34人	・ライゾゾーム病	1人
・クローン病	78人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	13人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	159人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	28人
・後縦靭帯骨化症	100人	・肥大型心筋症	1人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	44人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	9人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	36人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	12人	・黄色靭帯骨化症	34人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	54人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・救命救急入院料3
・歯科外来診療環境体制加算	・救命救急入院料4
・特定機能病院入院基本料	・特定集中治療室管理料4
・臨床研修病院入院診療加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・救急医療管理加算	・小児入院医療管理料2
・超急性期脳卒中加算	・
・妊産婦緊急搬送入院加算	・
・診療録管理体制加算	・
・急性期看護補助体制加算	・
・看護補助加算	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・
・救急搬送患者地域連携受入加算	・
・データ提出加算	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・時間内歩行試験
・植込型除細動器移行期加算	・胎児心エコー法
・高度難聴指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん性疼痛緩和指導管理料	・皮下連続式グルコース測定
・がん患者指導管理料1	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん患者指導管理料2	・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
・外来緩和ケア管理料	・光トポグラフィ
・移植後患者指導管理料	・神経学的検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・補聴器適合検査
・ニコチン依存症管理料	・コンタクトレンズ検査料1
・地域連携診療計画管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・がん治療連携計画策定料1	・内服・点滴誘発試験
・がん治療連携管理料	・センチネルリンパ節生検1, 2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・画像診断管理加算2
・薬剤管理指導料	・歯科画像診断管理加算1
・医療機器安全管理料1	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料2	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料(歯科)	・外傷全身CT加算
・歯科治療総合医療管理料	・大腸CT撮影加算
・持続血糖測定器加算	・心臓MRI撮影加算
・造血管腫瘍遺伝子検査	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・外来化学療法加算1
・検体検査管理加算(IV)	・無菌製剤処理料
・遺伝カウンセリング加算	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅱ)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・植込型心電図検査	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・がん患者リハビリテーション料	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースをもちいるもの)
・治療抵抗性統合失調症治療指導管理料	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・医療保護入院等診療料	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・エタノールの局所注入(甲状腺・副甲状腺に対するもの)	・補助人工心臓
・磁気による膀胱等刺激法	・経皮の大動脈遮断術

・一酸化窒素吸入療法	・ダメージコントロール手術
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・腹腔鏡下肝切除術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)のに限る。)	・生体部分肝移植術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極埋込術を含む。 )及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・同種死体腎移植術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・生体腎移植術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの。)	・膀胱水圧拡張術
・網膜再建術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・人工内耳埋込術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・植込型骨導補聴器を用いる場合の植込型骨導補聴器の植込み及び接合子付骨導端子及び骨導端子の交換	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・輸血管理料 I
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に限る。)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算2)	・内視鏡手術用支援機器加算
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・歯周組織再生誘導手術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・経皮的大動脈弁置換術	・麻酔管理料( I )
・経皮的中隔心筋焼灼術	・麻酔管理料( II )
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・放射線治療専任加算
・外来放射線治療加算	・高エネルギー放射線治療
・1回線量増加加算	・強度変調放射線治療(IMRT)
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・定位放射線治療	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・歯科技工加算	・CAD/CAM冠
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・病理診断管理加算2

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・先天性難聴の遺伝学的検査	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術 (歯周疾患及び加齢による骨吸収は除く。)	・
・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	・
・経皮的胆管ドレナージ術	・
・光トポグラフィー(抑うつ症状の鑑別診断の補助に使用するもの)	・
・羊膜移植術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	毎月1回程度開催しており、平成25年度においては、9回開催している。
部 検 の 状 況	部検症例数 22 例 / 部検率 11.30%

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
「培養ヒト骨髄細胞を用いた低侵襲肝臓再生療法の開発」	坂井田 功	第一内科	210,320,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
肝臓再生療法のための革新的なAIソレータの開発	坂井田 功	第一内科	14,833,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
門脈血行異常症に関する調査研究	坂井田 功	第一内科	350,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金(研究分担者)
肝硬変に対する細胞治療法の臨床的確立とそのメカニズムの解明	坂井田 功	第一内科	65,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金(研究代表者)
肝クッパー細胞、新生血管リアルタイム観察モデルの開発	寺井 崇二	第一内科	1,820,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業
胃癌の発生におけるEBV感染とAID発現の関与について	西川 潤	第一内科	1,820,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業
ハイパースペクトルイメージング技術の消化器内視鏡への応用	西川 潤	第一内科	1,700,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
小型骨髄由来肝修復細胞の形態解析と特異因子の探求	山本 直樹	第一内科	1,820,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業
骨髄由来レドックス制御細胞による新規肝発癌予防療法開発のための基盤研究	高見 太郎	第一内科	2,080,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業
部分的脾動脈塞栓術と自己骨髄細胞投与療法を組み合わせた新規肝線維化改善療法の開発	石川 剛	第一内科	2,080,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業
潰瘍性大腸炎の安全な寛解維持療法に対する漢方薬の有効性	橋本 真一	第一内科	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業
特発性心筋症に関する調査研究	矢野 雅文	第二内科	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金(研究分担者)
生活習慣病予防のための運動を阻害する要因とその対策に関する研究	矢野 雅文	第二内科	500,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金(研究分担者)
心筋細胞内カルシウム制御による心不全・心肥大・致死的不整脈の包括的治療法の確立	矢野 雅文	第二内科	6,370,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業
解析に適した良質ながん臨床検体の確保と臨床的特徴の解析	碓 彰一	第二外科	3,900,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
KRAS 野生型切除可能大腸癌肝転移に対する術後補助化学療法 mFOLFOX6 と周期化学療法 mFOLFOX6+セツキシマブの第Ⅲ相ランダム化比較試験	碓 彰一	第二外科	105,000	補 委 財団法人先端医療振興財団
リアノシン受容体分子内のK201結合コアをターゲットとした不整脈治療の実用化	山本 健	第二内科	1,430,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業
細胞内カルシウム放出制御による新しい悪性高熱症・不整脈の治療開発と臨床応用	小林 茂樹	第二内科	1,560,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業
致死性不整脈発生基質としての介在板リモデリングの検討	大草 知子	第二内科	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業
経皮的冠動脈形成術(PCI)における血管内光干渉断層法(OFDI)及び血管内超音波診断法(IVUS)の有用性に関する研究	岡村 誉之	第二内科	867,000	補 委 財団法人先端医療振興財団
光干渉断層法の3次元再構成画像を用いた新たなステント留置後評価法の確立	岡村 誉之	第二内科	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業
患者データベースに基づく糖尿病の新規合併症マーカーの探索と均てん化に関する研究－合併症予防と受診中断抑制の視点から	谷澤 幸生	第三内科	500,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金(研究分担者)
Wolfram症候群をモデルとした糖尿病におけるβ細胞不全のメカニズム解析	谷澤 幸生	第三内科	6,110,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業
Gsk-3による統合的エネルギー代謝調節機構解明に基づく2型糖尿病治療の研究	田部 勝也	第三内科	2,600,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業
カルバインはインスリン受容体を切断し糖尿病発症に関与するの？	阿望 幾久子	第三内科	2,210,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業

免疫性神経疾患に関する調査研究	神田 隆	神経内科	1,500,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
難治性神経因性疼痛の基礎疾患の 解明と診断・治療を向上させるための 研究に関する調査	神田 隆	神経内科	1,500,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
自己免疫疾患に関する調査研究	神田 隆	神経内科	2,000,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
非細胞性バリアーを含むヒト血液神経 関門全容の解明とその人為的操作法 の開発	神田 隆	神経内科	9,360,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液・神経関門モデルを用いたCIDP 病態解明	神田 隆	神経内科	500,000	補委	独立行政法人国立精 神・神経医療研究セン ター
スモンに関する調査研究	川井 元晴	神経内科	700,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
細菌感染後性末梢神経疾患における 菌体シアル化の関与の証明	古賀 道明	神経内科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液神経関門を標的とした免疫性末 梢神経疾患の病態解明と新規治療の 開発	清水 文崇	神経内科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液脳関門におけるAβ輸送システ ムの改変	佐野 泰照	神経内科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多異性運動ニューロパチーの伝導ブ ロック部における血液神経関門破綻 の証明	尾本 雅俊	神経内科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
DNAメチル化修飾に着目したうつ病 のマーカー作成ー双極、単極、治療 抵抗性うつ病の識別を目指してー	松尾 幸治	精神科神経科	1,300,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
双極性障害における軸索構造ネット ワークの分子生物学的病態解明	松尾 幸治	精神科神経科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自殺企図者実態調査および自殺未遂 者支援のあり方についての調査研究	松原 敏郎	精神科神経科	2,027,336	補委	山口県
NIRSを用いたrealtime neurofeedback によるうつ病治療の開発	松原 敏郎	精神科神経科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病患者とうつ病モデルマウス双方 から同定されたNoxaのうつ行動に対 する役割	山形 弘隆	精神科神経科	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病の異種性に対応したストレス脆 弱性バイオマーカーの同定と分子病 態生理の解明	山形 弘隆	精神科神経科	18,220,000	補委	国立大学法人群馬大 学
気分障害患者のスプライシングファク ターSRp20と脳病態との関連を解明す る研究	綿貫 俊夫	精神科神経科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
プリオン病及び変異性ウイルス感染症 に関する調査研究	長谷川 俊史	小児科	1,900,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
重症のインフルエンザによる肺炎・脳 症の病態解析・診断・治療に関する研 究	長谷川 俊史	小児科	1,500,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
自己骨髄由来幹細胞を用いた心血管 再生における新たな治療戦略	濱野 公一	第一外科	5,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
炎症性動脈瘤形成症候群に新規診 断法の確立に関する研究	吉村 耕一	第一外科	1,000,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
次世代大動脈瘤診断治療法の開発: 細胞外マトリクス分子による病態制御 機構の解明	吉村 耕一	第一外科	4,030,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大動脈瘤に対する革新的ハイブリッド 治療システムの開発	吉村 耕一	第一外科	3,770,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊髄傷害に対する虚血プレコンディ ショニングの保護効果とその機序の解 明	美甘 章仁	第一外科	5,980,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細胞表面に局在する“細胞内タンパク 質”の網羅的解析と組織障害・修復機 能の解明	泉 友則	第一外科	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細胞内ATPセンサーを用いた癌幹細 胞の動態解析法の開発	藤澤 浩一	第一外科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心房細動患者の心房線維化に関する 血中バイオマーカーの同定と臨床応 用	末廣 晃太郎	第一外科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒト末梢血単核球に対する低酸素プレ コンディショニングの有用性と安全性 の検証	村上 雅憲	第一外科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大腸癌悪性化進展におけるJab1の役 割解明	西本 新	第一外科	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

臨床応用を目指した幹細胞プレコン デショニングによる血管細胞治療の 効果の向上	桂 春作	第一外科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺気腫における癌関連線維芽細胞を 介した肺癌進展誘導の機序解明と新 規治療法の開発	林 雅太郎	第一外科	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
マイクロRNAによる心筋前駆細胞への 分化誘導制御	細山 徹	第一外科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
梗塞心筋における組織内環境の改善 による自己再生能力の増強と細胞移 植治療への応用	藏澄 宏之	第一外科	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
陳旧性心筋梗塞に対する Cardiosphere由来細胞シートの効果	鈴木 亮	第一外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
消化器がんに対する樹状細胞ワクチ ン療法の開発	岡 正朗	第二外科	500,000	補 委	独立行政法人国立がん 研究センター
進行・再発膀胱癌に対する新規エピト プペプチドカクテル療法と標準化学療 法の併用効果を検討する多施設共同 第I/II相臨床試験	岡 正朗	第二外科	109,100,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究代表者)
肝細胞癌における転移・再発に関与 する癌幹細胞の同定及び解析	岡 正朗	第二外科	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膀胱癌に対する癌幹細胞を標的とした 免疫療法の開発	岡 正朗	第二外科	5,590,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
「効果的な複合免疫療法の確立」(オ ンコアンチゲン由来ペプチドワクチン におけるバイオマーカーの検証と治 療戦略の構築)	碓 彰一	第二外科	24,600,000	補 委	文部科学省
再発乳癌治療における免疫ネガティ ブシグナル抑制に着目した新世代免 疫療法の開発	山本 滋	第二外科	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遺伝子多型に基づいた術後合併症 予測システムの開発	坂本 和彦	第二外科	2,080,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝細胞癌における新規バイオバイオ マーカーMCM6の解析	飯田 通久	第二外科	2,080,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膀胱癌幹細胞をターゲットとしRNAア プタマーを用いた新規標識システムの 構築	吉村 清	第二外科	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大腸癌化学療法の効果予測マー カー、新規予後予測マーカーの開発	徳久 善弘	第二外科	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
低分化型細胞株から独自方法で誘導 した浮遊細胞塊の解析による癌幹細 胞治療標的の検討	恒富 亮一	第二外科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
HMGB1による癌化学療法の免疫学 的効果予測	鈴木 伸明	第二外科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	田口 敏彦	整形外科	500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
ラット脊髄損傷後の機能的神経筋電 気刺激治療モデルの確立	寒竹 司	整形外科	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
食品を介したダイオキシン類等の人体 への影響の把握とその治療法の開発 等に関する研究	武藤 正彦	皮膚科	1,200,000	補 委	山口県
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研 究	武藤 正彦	皮膚科	2,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
膿疱性乾癬の発症機構の分子遺伝 学的研究	武藤 正彦	皮膚科	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
メラノーマにおける熱ショック転写因子 の抗腫瘍効果解析と治療的応用の検 討	中村 好貴	皮膚科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
標準的治療の確立が望まれる難治性 疾患に対する新規治療法の開発	松山 豪泰	泌尿器科	300,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
中心体複製異常を指標とした新しい 膀胱癌治療の試み	松山 豪泰	泌尿器科	520,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
男性不妊症に対する内分泌療法開発 についての基礎研究	白石 晃司	泌尿器科	2,080,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
淡明腎細胞癌における解糖系関連遺 伝子の治療標的としての有用性の検 討	長尾 一公	泌尿器科	2,730,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腎細胞がんにおけるAMPK-mTOR経 路を介した新しい治療戦略の開発	松本 洋明	泌尿器科	2,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

蛋白発現解析を含めた日本人筋層非浸潤性膀胱癌予後予測モデルの開発	坂野 滋	泌尿器科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
急性網膜壊死の診断基準に関する調査研究	園田 康平	眼科	1,000,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
網膜下癬痕病巣形成メカニズム解明とその治療への応用	園田 康平	眼科	4,550,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
眼炎症による糖尿病網膜症のメカニズム解明とその治療への応用	園田 康平	眼科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
感染性角膜潰瘍発症の分子機序に基づいた新たな治療薬の開発	木村 和博	眼科	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
角膜実質癬痕形成における実質細胞分化転換誘導因子とアクチン重合関連タンパクの検討	森重 直行	眼科	2,730,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
角膜接着能評価による再発性角膜上皮びらん治療薬の検索	山田 直之	眼科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
前庭機能異常に関する調査研究	山下 裕司	耳鼻咽喉科	800,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
老人性難聴とメタボリック症候群の関連についての基礎的研究	山下 裕司	耳鼻咽喉科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
前庭神経系の可塑性における抗うつ薬の役割に関する研究	下郡 博明	耳鼻咽喉科	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
いびきの音響解析と睡眠時CTによる睡眠呼吸障害患者の上気道閉塞部位診断法の確立	原 浩貴	耳鼻咽喉科	325,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ゼブラフィッシュ側線器有毛細胞を用いた内耳保護候補薬物のスクリーニング	廣瀬 敬信	耳鼻咽喉科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
2管球コンピュータ断層撮影装置を用いた冠動脈造影の臨床的有用性の検討	松永 尚文	放射線科	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺癌化学療法個別化治療における高分解能CTの役割	田中 伸幸	放射線科	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨盤部SWI:腸管ガスによる磁化率アーチファクトの基礎的検討	徳田 修	放射線科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
亜硝酸剤非使用・使用冠動脈CTAを用いた冠動脈狭窄評価	岡田 宗正	放射線科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
CTエンテロクリーシスを用いた小腸炎症疾患の新たな画像分類の構築	清水 建策	放射線科	260,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
頭頸部領域造影超音波検査の臨床応用に関する研究	飯田 悦史	放射線科	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
超早産児における皮膚成熟促進治療薬の開発を目指した基礎的研究	杉野 法広	産科婦人科	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エピゲノム情報の統合解析による子宮内膜の脱落膜化に伴う遺伝子発現制御機構の解明	杉野 法広	産科婦人科	7,930,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルボニールレダクターゼの機能解析—新たな機序による分子標的治療の開発に向けて—	村上 明弘	産科婦人科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮筋腫におけるX染色体のエピジェネティクス変異機構の解析	佐藤 俊	産科婦人科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮筋腫発生に関与する遺伝子の探索—エピゲノム異常の視点から—	浅田 裕美	産科婦人科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内胎児発育遅延の安全な妊娠・分娩管理法に係る研究	杉野 法広	産科婦人科	2,400,000	補委	浜田市
ニューログロビンを中心とした虚血応答システム活性化による脊髄保護に関する研究	松本 美志也	麻酔・蘇生科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エイコサペンタエン酸及びアラキドン酸比の脳血管反応性への影響と術後高次脳機能障害	石田 和慶	麻酔・蘇生科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳動脈瘤塞栓術におけるHydrogel coilの塞栓効果に関する多施設共同無作為化比較試験(HYBRID study)	鈴木 倫保	脳神経外科	604,800	補委	財団法人先端医療振興財団
脳局所冷却による全般性てんかん治療効果の実験的検証と理論的解明	鈴木 倫保	脳神経外科	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
局所脳冷却技術を用いた脳神経外科疾患治療装置の開発調査	鈴木 倫保	脳神経外科	300,000	補委	山口県

脳冷却機能を持つ術中モニタリング用硬膜下留置式多機能センサの開発	野村 貞宏	脳神経外科	549,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
高血圧ラットを用いた特発性正常圧水頭症の発症機序の解明	野村 貞宏	脳神経外科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
移植神経細胞を介した神経回路網の再構築を基盤とした新規細胞治療モデルの開発	出口 誠	脳神経外科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第Ⅲ相臨床研究	出口 誠	脳神経外科	500,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
Photodynamic therapyによる脳腫瘍幹細胞の根絶	貞廣 浩和	脳神経外科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
局所脳冷却の各種脳外科疾患に対する至適冷却温度と冷却時間の統合的検討	井上 貴雄	脳神経外科	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
調節的局所脳冷却を用いた運動機能の抑制性制御に関する研究	井本 浩哉	脳神経外科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
霊長類を用いた完全自律型でんかん発作検知と局所脳冷却による発作抑制技術の実現	森廣 雄介	脳神経外科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳性麻痺に対する神経回路再構築による抜本的再生治療	篠山 瑞也	脳神経外科	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳外傷後高次脳機能障害に対するlomazenil SPECT共同研究	末廣 栄一	脳神経外科	1,700,000	補委	公益財団法人国際科学振興財団
レーザーベッセルを応用した口蓋瘻痕の定量評価法の開発と口蓋裂臨床への応用	三島 克章	歯科口腔外科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
流体音響解析を応用した各構音運動の音源解明と口蓋裂言語の病態解明	三島 克章	歯科口腔外科	9,100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己血液より精製したフィブロネクチンを用いた骨造成法の研究	真野 隆充	歯科口腔外科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
進行・再発・切除不能口腔癌に対する新規機能温存療法の開発	原田 耕志	歯科口腔外科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
口腔癌に対するWarburg効果阻害に着目した新規治療法の開発	原田 豊子	歯科口腔外科	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
口腔癌における染色体領域増幅の分子細胞学的意義に関する検討	内田 堅一郎	歯科口腔外科	2,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
口腔癌に対するドセタキセル併用化学療法の新規効果予測因子の同定	Ferdous Tarannum	歯科口腔外科	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
HSP70mRNA導入樹状細胞を用いた肝細胞癌術後補助療法の開発	爲佐 卓夫	手術部	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊髄虚血神経保護における抗炎症薬の臨床応用に関する研究	山下 敦生	手術部	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
放射線治療施設規模別の品質管理最適化に関する研究	川村 慎二	放射線部	600,000	補委	独立行政法人国立がん研究センター
輸血療法における重篤な副作用副作用であるTRALI-TACOに対する早期診断・治療のためのガイドライン策定に関する研究	藤井 康彦	輸血部	500,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
効果的な熱中症予防のための医学的情報等の収集・評価体制構築に関する研究	鶴田 良介	先進救急医療センター	800,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
重症脳障害に対する脳低温療法と脳保護薬の併用による新たな治療戦略	小田 泰崇	先進救急医療センター	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
SuperoxideとHMGB1を主眼とした頭部外傷の病態解明と治療法の確立	藤田 基	先進救急医療センター	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
外傷性頭蓋内血腫除去時の二次性脳損傷に対する脳低温療法による脳保護効果の検討	末廣 栄一	先進救急医療センター	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工呼吸中に上肢下肢筋力を増強することにより人工呼吸離脱を促進できるかを検討する	松田 憲昌	集中治療部	390,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
加齢に伴う卵子の数および質の低下はメラトニンで予防できるか。	田村 博史	周産期母子医療センター	3,120,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ダイオキシンが子宮内膜症発症に関与する機序の解明	山縣 芳明	周産期母子医療センター	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜の脱落膜化におけるMn-SOD発現に関する新たな転写調節経路・機構の解明	田村 功	周産期母子医療センター	3,250,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

四肢虚血リモートプレコンディショニングによる脳虚血耐性機序の解明	山下 理	周産期母子医療センター	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ラット黄体化顆粒膜細胞におけるステロイド合成関連遺伝子のエピジェネティクス制御	李 理華	周産期母子医療センター	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
進行肝細胞癌に対する鉄キレート剤と分子標的治療薬併用による新規治療法の開発	山崎 隆弘	光学診療部	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃癌抗体療法におけるADCC活性増強の試み—Fc受容体遺伝子多型の検討も含めて—	吉野 茂文	腫瘍センター	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エピジェネティクスに基づく肝癌予後予測のためのハイブリッド型血液テスト	飯塚 徳男	漢方診療部	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
進行肝細胞癌に対する新規肝動脈化学療法の開発と分子標的治療併用の意義	日高 勲	肝疾患センター	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
切除可能悪性胸膜中皮腫に対する集学的治療法の確立に関する研究	澁谷 景子	放射線治療部	500,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
ウイルス性肝疾患に係る各種対策の医療経済評価に関する研究	石田 博	医療情報部	1,000,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
医療給付制度への応用のための医療経済評価における技術的課題に関する研究	石田 博	医療情報部	500,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
先天免疫に関連した酸化ストレス消去酵素による新たな臓器障害抑制機序解明	梅本 誠治	臨床研究センター	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
冠動脈疾患既往患者における高脂血症治療薬(プロブコール)の血管イベント発症の二次予防効果および抗動脈硬化作用を評価する臨床研究	梅本 誠治	臨床研究センター	42,000	補委	財団法人先端医療振興財団
脳血管攣縮のメカニズム ABCA1を介するコレステロール代謝による制御	小泉 博靖	医療安全推進室	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルシウムセンサーDOC2bのリン酸化を介する小胞膜融合調節機構	福田 尚文	感染制御室	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

合計 153

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入する。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Tanimoto H., Terai S., Taro T., Murata Y., Fujisawa K., Yamamoto N., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minami-Kogushi 1-1-1, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan; Center of Reparative Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Improvement of liver fibrosis by infusion of cultured cells derived from human bone marrow	Cell and Tissue Research,354,3, 717-728,2013
2	Okamoto T., Nishikawa J., Yanai H., Nakamura H., Takeuchi H., Kurai S., Akada J.K., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Minamikogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Clinical Research, National Hospital Organization Kanmon Medical Center, Yamaguchi, Japan; Department of Gastroenterology, Shin Koga Hospital, Fukuoka, Japan; Department of Clinical Laboratory Medicine, Kochi University, School of Medicine, Kochi, Japan; Luminescent Quantum Semiconductors Laboratory, Graduate School of Science and Engineering, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan; Department of Biochemistry and Functional Proteomics, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	In vitro bactericidal effects of near-ultraviolet light from light-emitting diodes on Helicobacter pylori	Scandinavian Journal of Gastroenterology,48,12, 1484-1486,2013
3	Suenaga S., Kuramitsu Y., Wang Y., Baron B., Kitagawa T., Akada J., Tokuda K., Kaino S., Maehara S.-I., Maehara Y., Sakaida I., Nakamura K.	Department of Biochemistry and Functional Proteomics, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Hepatology and Gastroenterology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Surgery and Science, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuokashi, Fukuoka, Japan	Human pancreatic cancer cells with acquired gemcitabine resistance exhibit significant up-regulation of peroxiredoxin-2 compared to sensitive parental cells	Anticancer Research,33,11, 4821-4826,2013
4	Okada T., Nakamura M., Nishikawa J., Sakai K., Zhang Y., Saito M., Morishige A., Oga A., Sasaki K., Suehiro Y., Hinoda Y., Sakaida I.	Department of Oncology and Laboratory Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Identification of genes specifically methylated in Epstein-Barr virus-associated gastric carcinomas	Cancer Science,104,10,1 309-1314,2013
5	Nakamura M., Nishikawa J., Goto A., Nishimura J., Hashimoto S., Okamoto T., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan	Usefulness of ultraslim endoscopy with flexible spectral imaging color enhancement for detection of gastric neoplasm: A preliminary study	Journal of Gastrointestinal Cancer,44,3,325 -328,2013
6	Saeki I., Terai S., Fujisawa K., Takami T., Yamamoto N., Matsumoto T., Hirose Y., Murata Y., Yamasaki T., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami Kogushi, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan	Bortezomib induces tumor-specific cell death and growth inhibition in hepatocellular carcinoma and improves liver fibrosis	Journal of Gastroenterology,48,6,738-750, 2013
7	Harima S., Hashimoto S., Shibata H., Matsunaga T., Tanabe R., Terai S., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Correlations between obesity/metabolic syndrome-related factors and risk of developing colorectal tumors	Hepato-Gastroenterology,60,124, 733-737,2013

8	Hashimoto S., Shimizu K., Shibata H., Kanayama S., Tanabe R., Onoda H., Matsunaga N., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Radiology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Iryouhoujin-Seijinkai Hayashi Hospital, 751-4 Ogoori-Shimogou, Yamaguchi, Yamaguchi 754-0002, Japan	Utility of computed tomographic enteroclysis/enterography for the assessment of mucosal healing in Crohn's disease	Gastroenterology Research and Practice, 2013, -, 2013
9	Matsunaga T., Hashimoto S., Okamoto T., Harima S., Tanabe R., Nishikawa J., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Effect of capsule placement with transnasal endoscopy	Digestive Endoscopy, 25, 2, 156-159, 2013
10	Goto A., Nishikawa J., Okamoto T., Hamabe K., Nishimura J., Nakamura M., Kiyotoki S., Saito M., Miura O., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minamikogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Surgery, Hofu Institute of Gastroenterology, Yamaguchi, Japan	Outcomes of endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer and factors associated with incomplete resection	Hepato-Gastroenterology, 60, 122, 46-53, 2013
11	Kiyotoki S., Nishikawa J., Okamoto T., Hamabe K., Saito M., Goto A., Fujita Y., Hamamoto Y., Takeuchi Y., Satori S., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Biomolecular Engineering, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Hokkaido Institute of Technology, Sapporo, Japan	New method for detection of gastric cancer by hyperspectral imaging: A pilot study	Journal of Biomedical Optics, 18, 2, -, 2013
12	Sakaida I., Yamashita S., Kobayashi T., Komatsu M., Sakai T., Komorizono Y., Okada M., Okita K.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Shimonoseki Kosei Hospital, Yamaguchi, Japan; Tohoku Rosai Hospital, Miyagi, Japan; Akita City Hospital, Akita, Japan; St Mary's Hospital, Fukuoka, Japan; Nanpuh Hospital, Kagoshima, Japan; Otsuka Pharmaceutical Co, Ltd., Tokyo, Japan; Social Insurance Alliance Shimonoseki Kosei Hospital, Yamaguchi, Japan	Efficacy and safety of a 14-day administration of tolvaptan in the treatment of patients with ascites in hepatic oedema	Journal of International Medical Research, 41, 3, 835-847, 2013
13	Iwamoto T., Terai S., Hisanaga T., Takami T., Yamamoto N., Watanabe S., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Minami Kogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Bone-marrow-derived cells cultured in serum-free medium reduce liver fibrosis and improve liver function in carbon-tetrachloride-treated cirrhotic mice	Cell and Tissue Research, 351, 3, 487-495, 2013
14	Saito M., Nishikawa J., Okada T., Morishige A., Sakai K., Nakamura M., Kiyotoki S., Hamabe K., Okamoto T., Oga A., Sasaki K., Suehiro Y., Hinoda Y., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Oncology and Laboratory Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Role of DNA methylation in the development of Epstein-Barr virus-associated gastric carcinoma	Journal of Medical Virology, 85, 1, 121-127, 2013

15	Matsuzaki M., Yamamoto K., Yano M., Nakamura K., Miyata Y., Sugiura K., Nakata E., Tsutsui H.	Department of Medicine and Clinical Science, Division of Cardiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Division of Cardiovascular Medicine, Endocrinology and Metabolism, Department of Molecular Medicine and Therapeutics, Faculty of Medicine, Tottori University, Yonago, Japan; Pharmaceutical Development Division, Takeda Pharmaceutical Company Limited, 1-1 Doshomachi 4-chome, Chuo-ku, Osaka 540-8645, Japan; Department of Cardiovascular Medicine, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan	Efficacy and safety of a 60-week treatment with candesartan in Japanese patients with mild to moderate chronic heart failure	Journal of Cardiology,61,4, 267-274,2013
16	Nakamura H., Kunitsugu I., Fukuda K., Matsuzaki M., Sano M.	Department of Community Health and Medicine, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Public Health, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Cardiology, Keio University, School of Medicine, Tokyo, Japan; Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Diverse stage-dependent effects of glucocorticoids in a murine model of viral myocarditis	Journal of Cardiology,61,3, 237-242,2013
17	Shinichi Okuda, Masafumi Yano	Division of Cardiology, Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	「New Data on Catecholaminergic Polymorphic Ventricular Tachycardia in Japan - From the Bench to the Bedside -」	Circ J,77,7, 1684-1686,2013
18	Yasuhiro Fukagawa, Toshiro Miura, Masaki Shibuya, Shintaro Akashi, Takamasa Oda, Takeshi Nakamura, Masunori Matsuzaki, Masafumi Yano	Division of Cardiology, Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	「Phosphorylation of Bad by Protein Kinase-C Activator Can Attenuate Tongue Muscle-Derived Stem Cell Death Caused by Oxidative Stress」	Bull Yamaguchi Med Sch,60,1.2, 1-10,2013
19	Shigeki Kobayashi, Wakako Murakami, Takeki Myoren, Hiroki Tateishi, Shinichi Okuda, Masahiro Doi, Tomoko Nao, Yasuaki Wada, Masunori Matsuzaki, Masafumi Yano	Division of Cardiology, Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	「A Low-Dose $\beta$ 1-Blocker Effectively and Safely Slows the Heart Rate in Patients with Acute Decompensated Heart Failure and Rapid Atrial Fibrillation」	Cardiology,127, 2,105-113,2014
20	Takao Maeda, Takayuki Okamura, Jutaro Yamada, Tomoko Nao, Hiroki Tateishi, Masayuki Yoshimura, Tetsuro Oda, Kozo Shiraiishi, Tadamitsu Nakashima, Takeshi Nakamura, Toshiro Miura, Masafumi Yano	Division of Cardiology, Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	「Serial three-dimensional optical coherence tomography assessment of strut coverage and intraluminal structures after drug-eluting stent implantation」	Cardiovasc Interv Ther,29,1, 31-39,2014
21	Hiroki Tateishi, Takayuki Okamura, Jutaro Yamada, Tomoko Nao, Takao Maeda, Takamasa Oda, Takeshi Nakamura, Toshiro Miura, Masunori Matsuzaki, Masafumi Yano	Division of Cardiology, Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	「Sequel of Jailed Side Branch -Four Years After Implantation With a Sirolimus-Eluting Stent-」	Circ J,78,3, 772-774,2014

22	Nakamura Y., Mitani N., Ishii A., Hayashi S., Yujiri T., Ikeda E., Tanizawa Y.	Third Department of Internal Medicine, Yamaguchi University School of Medicine, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan	Idiopathic pneumonia syndrome with thrombotic microangiopathy-related changes after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	International Journal of Hematology,98,4 ,496-498,2013
23	Nakabayashi H., Ohta Y., Yamamoto M., Susuki Y., Taguchi A., Tanabe K., Kondo M., Hatanaka M., Nagao Y., Tanizawa Y.	Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Division of Endocrinology, Metabolism, Hematological Sciences and Therapeutics, Department of Bio-Signal Analysis, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Clock-controlled output gene Dbp is a regulator of Arnt/Hif-1 $\beta$ gene expression in pancreatic islet $\beta$ -cells	Biochemical and Biophysical Research Communications ,434,2,370-375, 2013
24	Tanaka M., Yujiri T., Ito S., Okayama N., Takahashi T., Shinohara K., Azuno Y., Nawata R., Hinoda Y., Tanizawa Y.	Department of Bio-Signal Analysis, School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Laboratory Medicine, School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Hematology, Yamaguchi Grand Medical Center, Yamaguchi, Japan; Department of Medicine, Towa Municipal Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Medicine, Yamaguchi Rosai Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Medicine, Shimonoseki Kousei Hospital, Yamaguchi, Japan	JAK2 46/1 haplotype is associated with JAK2 V617F-positive myeloproliferative neoplasms in Japanese patients	International Journal of Hematology,97,3 ,409-413,2013
25	Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1-Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 7558505, Japan	Interleukin-33/suppression of tumorigenicity 2 system: Can it be a future therapeutic target for neuroimmunological disorders?	Clinical and Experimental Neuroimmunology,4,3,255-256, 2013
26	Maeda T., Sano Y., Abe M., Shimizu F., Kashiwamura Y., Ohtsuki S., Terasaki T., Obinata M., Ueda M., Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1 Minamikogushi, Ube 7558505, Japan; Department of Pharmaceutical Microbiology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan; Department of Molecular Biopharmacy and Genetics, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University, Sendai, Japan; Department of Cell Biology, Institute of Development, Aging and Cancer, Tohoku University, Sendai, Japan; YS Institute, Utsunomiya, Japan	Establishment and characterization of spinal cord microvascular endothelial cell lines	Clinical and Experimental Neuroimmunology,4,3,326-338, 2013
27	Haruki H., Sano Y., Shimizu F., Omoto M., Tasaki A., Oishi M., Koga M., Saito K., Takahashi T., Nakada T., Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Minamikogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi 7558505, Japan; Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Tokyo Medical and Dental University, Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan; Department of Neurology, Tohoku University, Graduate School of Medicine, Miyagi, Japan; Center for Integrated Human Brain Science, Brain Research Institute, University of Niigata, Niigata, Japan	NMO sera down-regulate AQP4 in human astrocyte and induce cytotoxicity independent of complement	Journal of the Neurological Sciences,331,41 641,136-144, 2013
28	Sano Y., Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 7558505, Japan	Blood-neural barrier: Overview and latest progress	Clinical and Experimental Neuroimmunology,4,2,220-227, 2013
29	Shimizu F., Sano Y., Tominaga O., Maeda T., Abe M.-A., Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Advanced glycation end-products disrupt the blood-brain barrier by stimulating the release of transforming growth factor- $\beta$ by pericytes and vascular endothelial growth factor and matrix metalloproteinase-2 by endothelial cells in vitro	Neurobiology of Aging,34,7, 1902-1912,2013

30	Saito K., Shimizu F., Koga M., Sano Y., Tasaki A., Abe M., Haruki H., Maeda T., Suzuki S., Kusunoki S., Mizusawa H., Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1, Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 7558505, Japan; Department of Neurology and Neurological Science, Tokyo Medical and Dental University Graduate School of Medicine, Bunkyo, Tokyo, Japan; Department of Neurology, Kinki University School of Medicine, Osaka-Sayama, Osaka, Japan	Blood-brain barrier destruction determines Fisher/Bickerstaff clinical phenotypes: An in vitro study	Journal of Neurology, Neurosurgery and Psychiatry, 84, 7, 756-765, 2013
31	Sano Y., Kashiwamura Y., Abe M., Dieu L.-H., Huwyler J., Shimizu F., Haruki H., Maeda T., Saito K., Tasaki A., Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 7558505, Japan; Department of Pharmaceutical Sciences, University of Basel, Basel, Switzerland	Stable human brain microvascular endothelial cell line retaining its barrier-specific nature independent of the passage number	Clinical and Experimental Neuroimmunology, 4, 1, 92-103, 2013
32	Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 7558505, Japan	Biology of the blood-nerve barrier and its alteration in immune mediated neuropathies	Journal of Neurology, Neurosurgery and Psychiatry, 84, 2, 208-212, 2013
33	Koga M.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minami-Kogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Another CNS phenotype of anti-GQ1b antibody syndrome	Journal of Neurology, Neurosurgery and Psychiatry, 84, -, 1185-1185, 2013
34	Shibata T., Yamagata H., Uchida S., Otsuki K., Hobara T., Higuchi F., Abe N., Watanabe Y.	Division of Neuropsychiatry, Department of Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	The alteration of hypoxia inducible factor-1 (HIF-1) and its target genes in mood disorder patients	Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry, 43, -, 222-229, 2013
35	Hasegawa S., Matsushige T., Inoue H., Takahara M., Kajimoto M., Momonaka H., Ishida C., Tanaka S., Morishima T., Ichiyama T.	Department of Pediatrics, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Japan; Department of Pediatrics, Okayama University, Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Japan	Serum soluble CD163 levels in patients with influenza-associated encephalopathy	Brain and Development, 35, 7, 626-629, 2013
36	Okada S., Hasegawa S., Hasegawa H., Ainai A., Atsuta R., Ikemoto K., Sasaki K., Toda S., Shirabe K., Takahara M., Harada S., Morishima T., Ichiyama T.	Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Influenza Virus Research Center and Department of Pathology, National Institute of Infectious Diseases, 4-7-1 Gakuen, Musashimurayama, Tokyo 208-011, Japan; Department of Respiratory Medicine, Juntendo University School of Medicine, Hongo 2-1-1, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8421, Japan; Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Yamaguchi Prefectural Institute of Public Health and Environment, 2-5-67 Aoi, Yamaguchi 753-0821, Japan; Department of Pediatrics, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama 700-8558, Japan	Analysis of bronchoalveolar lavage fluid in a mouse model of bronchial asthma and H1N1 2009 infection	Cytokine, 63, 2, 194-200, 2013
37	Yamashita O., Yoshimura K., Nagasawa A., Ueda K., Morikage N., Ikeda Y., Hamano K.	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Graduate School of Health and Welfare, Yamaguchi Prefectural University, Yamaguchi, Japan; Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Periostin links mechanical strain to inflammation in abdominal aortic aneurysm	PLoS ONE, 8, 11, -, 2013

38	Nishimoto A., Kugimiya N., Hosoyama T., Enoki T., Li T.-S., Hamano K.	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Stem Cell Biology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, 1-12-4 Sakamoto, Nagasaki 852-8523, Japan	JAB1 regulates unphosphorylated STAT3 DNA-binding activity through protein-protein interaction in human colon cancer cells	Biochemical and Biophysical Research Communications, 438,3,513-518, 2013
39	Ueda K., Hayashi M., Tanaka T., Hamano K.	Department of Surgery and Clinical Science, Division of Chest Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Thoracic Surgery, NHO Yamaguchi-Ube Medical Center, Ube, Japan	Omitting chest tube drainage after thoracoscopic major lung resection	European Journal of Cardio-thoracic Surgery, 44,2,225-229, 2013
40	Nagasawa A., Yoshimura K., Suzuki R., Mikamo A., Yamashita O., Ikeda Y., Tsuchida M., Hamano K.	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, 755-8505, Japan; Division of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Niigata University, Graduate School of Medical and Dental Science, Niigata, Japan; Graduate School of Health and Welfare, Yamaguchi Prefectural University, Yamaguchi, Japan; Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Important role of the angiotensin II pathway in producing matrix metalloproteinase-9 in human thoracic aortic aneurysms	Journal of Surgical Research, 183,1, 472-477, 2013
41	Suga A., Ueda K., Takemoto Y., Nishimoto A., Hosoyama T., Li T.-S., Hamano K.	Department of Surgery and Clinical Science, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Stem Cell Biology, Life Science and Radiation Research, Nagasaki University, Graduate School of Biomedical Science, Nagasaki, Japan	Significant role of bone marrow-derived cells in compensatory regenerative lung growth	Journal of Surgical Research, 183,1, 84-90, 2013
42	Suzuki R., Kudo T., Kurazumi H., Takahashi M., Shirasawa B., Mikamo A., Hamano K.	Department of Surgery and Clinical Science, Division of Cardiac Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Transapical extirpation of a left ventricular thrombus in takotsubo cardiomyopathy	Journal of Cardiothoracic Surgery, 8,1,-, 2013
43	Sato M., Mikamo A., Kurazumi H., Suzuki R., Murakami M., Kobayashi T., Yoshimura K., Hamano K.	Department of Surgery and Clinical Science, Division of Cardiac Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Faculty of Nursing and Nutrition, Yamaguchi Prefectural University, Yamaguchi, 3-2-1 Sakurabatake, Yamaguchi 753-0021, Japan	Ratio of preoperative atrial natriuretic peptide to brain natriuretic peptide predicts the outcome of the maze procedure in mitral valve disease	Journal of Cardiothoracic Surgery, 8,1,-, 2013
44	Ikenaga S., Mikamo A., Kudo T., Kurazumi H., Suzuki R., Hamano K.	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, School of Medicine, Minami-Kogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Arch translocation and the intra-arch elephant-trunk technique with collared graft for extended chronic dissecting aortic aneurysm	Journal of Cardiothoracic Surgery, 8,1,-, 2013
45	Ueda K., Tanaka T., Hayashi M., Tanaka N., Li T.-S., Hamano K.	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Radiopathology and Science, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Stem Cell Biology, Nagasaki University, Graduate School of Biomedical Science, Life Science and Radiation Research, Nagasaki, Japan	Right middle lobe transposition after upper lobectomy: Influence on postoperative pulmonary function	Thoracic and Cardiovascular Surgeon, 61,2, 138-143, 2013
46	Masanori Murakami, Hiroshi Kurazumi, Ryo Suzuki, Masaya Takahashi, Akihito Mikamo, Kimikazu Hamano	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, School of Medicine, Minami-Kogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Valve replacement for papillary fibroelastoma involving the mitral valve chordae	Annals of Thoracic Surgery, 95,4, 1458, 2013
47	Osamu Yamashita, Koichi Yoshimura, Noriyasu Morikage, Akira Furutani, Kimikazu Hamano	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, School of Medicine, Minami-Kogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	A novel treatment strategy for infected abdominal aortic aneurysms	Aortic Aneurysm-Recent Advances, -, -, 181-194, 2013

48	Kotaro Suehiro, Noriyasu Morikage, Masanori Murakami, Osamu Yamashita, Makoto Samura, Kimikazu Hamano	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, School of Medicine, Minami-Kogushi1-1-1, Ube, Yamaguchi 755- 8505, Japan	Significance of ultrasound examination of skin and subcutaneous tissue in secondary lower extremity lymphedema	Annals of Vascular Diseases,6,2, 180-188,2013
49	Kazuhiro Ueda, Masataro Hayashi, Nobuyuki Tanaka, Toshiki Tanaka, Kimikazu Hamano	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, School of Medicine, Minami-Kogushi1-1-1, Ube, Yamaguchi 755- 8505, Japan	Long-term pulmonary function after major lung resection	General Thoracic and Cardiovascular Surgery,62,1, 24-30,2014
50	Shigeru Ikenaga, Akihito Mikamo, Tomoaki Kudo, Hiroshi Kurazumi, Ryo Suzuki, Kimikazu Hamano	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, School of Medicine, Minami-Kogushi1-1-1, Ube, Yamaguchi 755- 8505, Japan	Pseudoaneurysm of the ascending aorta 31 years after mitral valve replacement	Asian Cardiovascular and Thoracic Annals,22,3, 332-334,2014
51	Kotaro Suehiro, Noriyasu Morikage, Masanori Murakami, Osamu Yamashita, Koshiro Ueda, Makoto Samura, Kaori Nakamura, Kimikazu Hamano	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, School of Medicine, Minami-Kogushi1-1-1, Ube, Yamaguchi 755- 8505, Japan	Subcutaneous Tissue Ultrasonography in Legs with Dependent Edema and Secondary Lymphedema	Annals of Vascular Diseases,7,1, 21-27,2014
52	Hazama S., Mishima H., Tsunedomi R., Okuyama Y., Kato T., Takahashi K.-I., Nozawa H., Ando H., Kobayashi M., Takemoto H., Nagata N., Kanekiyo S., Inoue Y., Hamamoto Y., Fujita Y., Hinoda Y., Okayama N., Oba K., Sakamoto J.-I., Oka M.	Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology (Surgery II), Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Cancer Center, Aichi Medical University, Nagakute, Japan; Department of Digestive Medicine, Kyoto First Red Cross Hospital, Kyoto, Japan; Department of Surgery, Kansai Rosai Hospital, Osaka, Japan; Department of Surgery, Aomori Prefectural Hospital, Aomori, Japan; Nozawa Clinic, Imizu, Japan; Program for the Strategic Education of Future Surgeons, Akita University Graduate School of Medicine, Akita, Japan; Cancer Treatment Center, Kochi Medical School, Kochi, Japan; Department of Surgery, Kinki Central Hospital, Osaka, Japan; Department of Surgery, Kitakyushu General Hospital, Kokura, Japan; Biomolecular Engineering of Applied Molecular Bioscience, Ube, Japan; Oncology and Laboratory Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Translational Research and Clinical Trial Center, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan; Tokai Central Hospital, Gifu, Japan	UGT1A1*6, 1A7*3, and 1A9*22 genotypes predict severe neutropenia in FOLFIRI-treated metastatic colorectal cancer in two prospective studies in Japan	Cancer Science,104,12, 1662-1669,2013
53	Yamamoto S., Maeda N., Yoshimura K., Oka M.	Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology (Department of Surgery II), Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Intraoperative detection of sentinel lymph nodes in breast cancer patients using ultrasonography- guided direct indocyanine green dye- marking by real-time virtual sonography constructed with three- dimensional computed tomography- lymphography	Breast,22,5, 933-937,2013
54	Kanekiyo S., Hazama S., Kondo H., Nagashima A., Eto R., Yoshida S., Shimizu R., Araki A., Yamamoto T., Uchiyama T., Yoshino S., Okayama N., Hinoda Y., Oka M.	Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology (Surgery II), Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami- Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Oncology and Laboratory Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	UDP-glucuronosyltransferase (UGT) 1A1*28 polymorphism directed phase ii study of irinotecan with 5'-deoxy- 5- fluorouridine (5'-DFUR) for metastatic colorectal cancer	Anticancer Research,33,8, 3423-3430,2013

55	Yoshino S., Furuya T., Shimizu R., Ozasa H., Nishimura T., Fukuda S., Kawaoka T., Hazama S., Oka M.	Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Surgery, Kanmon Medical Center, Shimonoseki, Japan; Department of Surgery, Ogori Daiichi General Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Surgery, Shimonoseki Kosei Hospital, Shimonoseki, Japan; Department of Surgery, Ube Industries Central Hospital, Ube, Japan	Combination phase II study of weekly paclitaxel and 5'-DFUR for unresectable or recurrent gastric cancer	Anticancer Research,33,6, 2629-2634,2013
56	Tsunedomi R., Iizuka N., Yoshimura K., Iida M., Tsutsui M., Hashimoto N., Kanekiyo S., Sakamoto K., Tamesa T., Oka M.	Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Complementary Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	ABCB6 mRNA and DNA methylation levels serve as useful biomarkers for prediction of early intrahepatic recurrence of hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma	International Journal of Oncology,42,5, 1551-1559,2013
57	Tsunedomi R., Iizuka N., Harada S., Oka M.	Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Complementary Medicine, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Susceptibility of hepatoma-derived cells to histone deacetylase inhibitors is associated with ID2 expression	International Journal of Oncology,42,4, 1159-1166,2013
58	Murakami T., Kanchiku T., Suzuki H., Imajo Y., Yoshida Y., Nomura H., Cui D., Ishikawa T., Ikeda E., Taguchi T.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Hiroshima Red Cross Hospital, Hiroshima, Hiroshima 730-0052, Japan; Departments of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Departments of Neurosciences, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Anti-interleukin-6 receptor antibody reduces neuropathic pain following spinal cord injury in mice	Experimental and Therapeutic Medicine,6,5, 1194-1198,2013
59	Seto S., Muramatsu K., Hashimoto T., Tominaga Y., Taguchi T.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	A new $\beta$ -tricalcium phosphate with uniform triple superporous structure as a filling material after curettage of bone tumor	Anticancer Research,33,11, 5075-5082,2013
60	Nishida N., Kanchiku T., Kato Y., Imajo Y., Kawano S., Taguchi T.	Department of Orthopaedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi 755-8505, Japan; Yamaguchi University, Yamaguchi 755-8611, Japan	Biomechanical analysis of the spinal cord in brown-séquard syndrome	Experimental and Therapeutic Medicine,6,5, 1184-1188,2013
61	Muramatsu K., Ihara K., Yoshida K., Tominaga Y., Hashimoto T., Taguchi T.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Kanmon Medical Center, Yamaguchi, Japan	Musculoskeletal sarcomas in the forearm and hand: Standard treatment and microsurgical reconstruction for limb salvage	Anticancer Research,33,10, 4175-4182,2013
62	Muramatsu K., Hashimoto T., Tominaga Y., Tamura K., Taguchi T.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University, School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan	Unusual peroneal nerve palsy caused by intraneural ganglion cyst: Pathological mechanism and appropriate treatment	Acta Neurochirurgica, 155,9, 1757-1761,2013
63	Hattori Y., Doi K., Sakamoto S., Satbhai N.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Ogori Daiichi General Hospital, 862-3, Shimogo, Ogori, Yamaguchi-City, Yamaguchi-Prefecture, 754-0002, Japan	Anatomic variations in branching patterns of the axillary artery: A multidetector-row computed tomography angiography study	Journal of Reconstructive Microsurgery,29, 8,531-536,2013
64	Imagama T., Tanaka H., Tokushige A., Seki K., Sumiura S., Yamamoto M., Nagahiro Y., Taguchi T.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1, Minamikogushi, Ube 755-8505, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi Grand Medical Center, Hofu, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Tokuyama Central Hospital, Shunan, Japan	Knee joint destruction driven by residual local symptoms after anti-tumor necrosis factor therapy in rheumatoid arthritis	Clinical Rheumatology,3 2,6,823-828,2013

65	Muramatsu K., Hashimoto T., Tominaga Y., Seto S., Taguchi T.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Severe ulnar nerve palsy caused by synovial chondromatosis arising from the pisotriquetral joint: A case report and review of literature	Acta Neurochirurgica, 155,6, 1153-1156,2013
66	Yoshida Y., Kataoka H., Kanchiku T., Suzuki H., Imajyo Y., Kato H., Taguchi T.	Department of Orthopaedic Surgery, Yamaguchi University Graduate, School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Orthopaedic Surgery, Yamaguchi Laborers Hospital, Ube, Yamaguchi, Japan	Transection method for shortening the rat spine and spinal cord	Experimental and Therapeutic Medicine,5,2, 384-388,2013
67	Imagama T., Taguchi T.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine.	[Efficacy and adverse reactions of the TNFalpha inhibitor infliximab in rheumatoid arthritis].	Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine,71,7, 1209-1213,2013
68	Muramatsu K, Moriya A, Miyoshi T, Tominaga Y, Seto S, Taguchi T	Department of Orthopaedic Surgery, Yamaguchi University Graduate, School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Orthopaedic Surgery, Yamaguchi Laborers Hospital, Ube, Yamaguchi, Japan. Department of Orthopaedic Surgery, Yamaguchiken Saiseikai Shimonoseki General Hospital	Vascularized Sural Nerve Graft and Extracorporeally Irradiated Osteochondral Autograft foOncological Reconstruction of Wrist Sarcoma Case Report and Review of Literature r	Annals of Plastic Surgery ,71,5,544-546, 2013
69	Kanchiku T, Imajo Y, Suzuki H, Yoshida Y, Taguchi T	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University, School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan	Usefulness of an Early MRI-based Classification System for Predicting Vertebral Collapse and Pseudoarthrosis After Osteoporotic Vertebral Fractures	J Spinal Disord Tech 2014 April Vol.27 No.2 E61-5,27,2,e61-e65, 2013
70	Nakamura Y., Muto M.	Department of Dermatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Japan	Spiny keratoderma of the palms in an insulin-treated diabetic patient	International Journal of Dermatology,52, 11,1460-1461, 2013
71	Ichimiya M., Goishi K., Muto M.	Department of Dermatology, Division of Plastic and Reconstructive Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1, Minami-Kogushi, Ube 755-8505, Japan	Endoscopic groin lymph node dissection as a preferable technique for malignant skin neoplasms	Journal of Plastic Surgery and Hand Surgery,47,4, 248-251,2013
72	Shinjo E., Shiraishi K., Matsuyama H.	Department of Urology, Yamaguchi University, School of Medicine, Ube, Japan	The effect of human chorionic gonadotropin-based hormonal therapy on intratesticular testosterone levels and spermatogonial DNA synthesis in men with non-obstructive azoospermia	Andrology,1,6, 929-935,2013

73	Sakano S., Matsuyama H., Kamiryo Y., Hayashida S., Yamamoto N., Kaneda Y., Nasu T., Hashimoto O., Joko K., Baba Y., Shimabukuro T., Suga A., Yamamoto M., Aoki A., Takai K., Yoshihiro S., Matsumura M.	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Urology, Shimonoseki Municipal Saiseikai Toyoura Hospital, Shimonoseki, Yamaguchi, Japan; Department of Urology and Nephrology, Tokuyama Central Hospital, Shunan, Yamaguchi, Japan; Department of Urology, Tokuyama Medical Association Hospital, Shunan, Yamaguchi, Japan; Department of Urology, Konan St. Hill Hospital, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Urology, Ogori Daiichi General Hospital, Yamaguchi, Yamaguchi, Japan; Department of Urology, Saiseikai Yamaguchi General Hospital, Yamaguchi, Yamaguchi, Japan; Department of Urology, Shuto General Hospital, Yanai, Yamaguchi, Japan; Department of Urology, Ube Industries Central Hospital, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Urology, Yamaguchi Red Cross Hospital, Yamaguchi, Yamaguchi, Japan; Department of Urology, Yamaguchi Grand Medical Center, Hofu, Yamaguchi, Japan; Department of Urology, Masuda Red Cross Hospital, Masuda, Shimane, Japan; Department of Urology, Saiseikai Shimonoseki General Hospital, Shimonoseki, Yamaguchi, Japan; Department of Urology, Shimonoseki City Hospital, Shimonoseki, Yamaguchi, Japan	Risk group stratification based on preoperative factors to predict survival after nephroureterectomy in patients with upper urinary tract urothelial carcinoma	Annals of Surgical Oncology,20,13, 4389-4396,2013
74	Shiraishi K., Matsuyama H.	Department of Urology, Yamaguchi University School of Medicine, 111 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Elevation of testicular temperature predicts testicular catch-up growth and hypotrophy after varicocelectomy and observation in adolescent varicocele	Urology,82,1, 205-209,2013
75	Shiraishi K., Matsuyama H.	Department of Urology, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Salvage Management of Prolonged Ischemic Priapism: Al-Ghorab Shunt Plus Cavernous Tunneling with Blunt Cavernosotomy	Journal of Sexual Medicine,10,2, 599-602,2013
76	Miyachika Y., Yamamoto Y., Matsumoto H., Nishijima J., Kawai Y., Nagao K., Hara T., Sakano S., Matsuyama H.	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Yamaguchi, Japan	Centrosome amplification in bladder washing cytology specimens is a useful prognostic biomarker for non-muscle invasive bladder cancer	Cancer Genetics,206, 41641,12-18, 2013
77	Sakano S., Ogawa S., Yamamoto Y., Nishijima J., Miyachika Y., Matsumoto H., Hara T., Matsuyama H.	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Yamaguchi	ERCC1 and XRCC1 expression predicts survival in bladder cancer patients receiving combined trimodality therapy.	Molecular and Clinical Oncology,1,3, 403-410,2013
78	Matsumoto H., Yamamoto Y., Shiota M., Kuruma H., Beraldi E., Matsuyama H., Zoubeidi A., Gleave ME.	The Vancouver Prostate Centre and Department of Urologic Sciences, University of British Columbia, Vancouver, British Columbia, Canada; Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan	Co-targeting androgen receptor and clusterin delays castrate resistant prostate cancer progression by inhibiting adaptive stress response and AR stability.	Cancer Research,73,16, 5206-5217,2013

79	Matsuyama H., Shimabukuro T., Hara I., Kohjimoto Y., Suzuki K., Koike H., Uemura H., Hayashi T., Ueno M., Kodaira K., Tomita Y., Sakurai T., Shimizu N.	Department of Urology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Urology, Ube Industries Hospital, Ube, Japan; Department of Urology, Wakayama Medical University, Wakayama, Japan; Department of Urology, Gunma University Graduate School of Medicine, Maebashi, Japan; Department of Urology, Kinki University Faculty of Medicine, Osakasayama, Japan; Department of Uro-Oncology, Saitama Medical University International Medical Center, Hidaka, Japan; Department of Urology, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan; Division of Urology, Gunma Prefectural Cancer Center, Ota, Japan	Combination of hemoglobin, alkaline phosphatase, and age predicts optimal docetaxel regimen for patients with castration-resistant prostate cancer.	International Journal of Clinical Oncology, Nov 23. [Epub ahead of print], -, -, 2013
80	Morishige N, Sonoda KH	Department of Ophthalmology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Bullous keratopathy as a progressive disease: Evidence from clinical and laboratory imaging studies	Cornea, 32, 11, S77-S83, 2013
81	Morishige N, Yamada N, Morita Y, Kimura K, Sonoda KH	Department of Ophthalmology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube City, Yamaguchi 755-8505, Japan	Persistence of Structural Changes at the Anterior Cornea in Bullous Keratopathy Patients after Endothelial Keratoplasty	PLoS ONE, 8, 9, e74279-e74279, 2013
82	Kimura K, Orita T, Morishige N, Nishida T, Sonoda KH	Department of Ophthalmology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube City, Yamaguchi 755-8505, Japan	Role of the JNK signaling Pathway in downregulation of connexin43 by TNF- $\alpha$ in human corneal fibroblasts	Curr Eye Res, 38, 9, 926-932, 2013
83	Kimura K, Morita Y, Orita T, Haruta J, Takeji Y, Sonoda KH	Department of Ophthalmology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube City, Yamaguchi 755-8505, Japan	Protection of human corneal epithelial cells from TNF- $\alpha$ -induced disruption of barrier function by rebamipide.	Invest Ophthalmol Vis Sci, 54, 4, 2752-2760, 2013
84	Yanai R, Ueda K, Sonoda KH	Department of Ophthalmology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Bevel toric multicurve rigid gas-permeable lens for keratoconus	Jpn J Ophthalmol, 57, 2, 199-205, 2013
85	Orita T, Kimura K, Nishida T, Sonoda KH	Department of Ophthalmology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube City, Yamaguchi 755-8505, Japan	Cytokine and chemokine secretion induced by poly(I:C) through NF- $\kappa$ B and phosphoinositide 3-kinase signaling pathways in human corneal fibroblasts	Curr Eye Res, 38, 1, 53-59, 2013
86	Morishige N, Hatabe N, Morita Y, Yamada N, Kimura K, Sonoda KH	Department of Ophthalmology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube City, Yamaguchi 755-8505, Japan	Spontaneous healing of corneal perforation after temporary discontinuation of erlotinib treatment.	Case Rep Ophthalmol, 5, 1, 6-10, 2014
87	Morita Y, Kimura K, Fujitsu Y, Enomoto A, Ueno S, Kondo M, Sonoda KH	Department of Ophthalmology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube City, Yamaguchi 755-8505, Japan	Autoantibodies against TRPM1 in Japanese Patient with Melanoma-associated Retinopathy.	Jpn J Ophthalmol, 58, 2, 166-171, 2014
88	Hirota Hara, Kazuma Sugahara, Takefumi Mikuriya, Makoto Hashimoto, Hirota Hara, Hiroshi Yamashita.	Department of Otolaryngology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Japan	The Effectiveness of Epinastine Hydrochloride for Pediatric Sleep-Disordered Breathing Related Symptoms Caused Hyperesthetic Non-Infections Rhinitis.	Otolaryngology, 4, 1, 1-8, 2013
89	Hirota Hara, Yuji Miyachi, Shinsaku Tahara, Hiroshi Yamashita.	Department of Otolaryngology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Japan	Human Laryngitis Caused by Clinostomum Complanatum.	Nagoya Journal of Medical Science, 76, 1, 147-151, 2014
90	Hirota Hara, Kazuma Sugahara, Hiroshi Yamashita.	Department of Otolaryngology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Japan	Unilateral Degloving Injury and Partial Fracture of the Arytenoid Cartilage.	Otolaryngology Head and Neck Surgery, 150, 7, 7-708, 2014

91	Hirota Hara, Kazuma Sugahara, Makoto Hashimoto, Takefumi Mikuriya, Shinsaku Tahara, Hiroshi Yamashita.	Department of Otolaryngology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Japan	Effectiveness of the leukotriene receptor antagonist pranlukast hydrate for the treatment of sleep disorder in patients with perennial allergic rhinitis.	Acta Oto-Laryngologica,134,,307-313,2014
92	Eiju Kanagawa, Kazuma Sugahara, Yoshinobu Hirose, Takefumi Mikuriya, Hiroaki Shimogori, Hiroshi Yamashita	Department of Otolaryngology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Japan	Pathology of the inner ear after acoustic injury	The Bulletin of the Yamaguchi Medical School,61,1,2,1-6,2014
93	Okada M., Nakashima Y., Kunihiro Y., Sano Y., Suga K., Kido S., Matsunaga N.	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Radiology, Yamaguchi Grand Medical Center, Yamaguchi, Japan; Department of Radiology, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Radiology, St Hills Hospital, Yamaguchi, Japan; Computer-aided Diagnosis and Biomedical Imaging Research Biomedical Engineering, Applied Medical Engineering Science Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan	Volumetric evaluation of dual-energy perfusion CT for the assessment of intrapulmonary clot burden	Clinical Radiology,68,12, e669-e675,2013
94	Okada M., Nakashima Y., Kunihiro Y., Nakao S., Morikage N., Sano Y., Suga K., Matsunaga N.	Department of Radiology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan; Medical Bioregulation Department of Organ Regulatory Surgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan; Department of Radiology, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Radiology, St Hills Hospital, Yamaguchi, Japan	Volumetric evaluation of dual-energy perfusion CT by the presence of intrapulmonary clots using a 64-slice dual-source CT	Acta Radiologica,54,6 ,628-633,2013
95	Furukawa M., Parvathaneni U., Maravilla K., Richards T.L., Anzai Y.	Department of Radiology, University of Washington, Seattle, WA, United States; Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Radiation Oncology, University of Washington, Seattle, WA, United States	Dynamic contrast-enhanced MR perfusion imaging of head and neck tumors at 3 Tesla	Head and Neck,35,7, 923-929,2013
96	Kunihiro Y., Okada M., Matsunaga N., Sano Y., Kudomi S., Suga K., Kido S.	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Radiology, Yamaguchi University Hospital, Ube, Japan; Department of Radiology, St Hill Hospital, Ube, Japan; Computer-aided Diagnosis and Biomedical Imaging Research Biomedical Engineering, Applied Medical Engineering Science Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan	Dual-energy perfusion CT of non-diseased lung segments using dual-source CT: Correlation with perfusion SPECT	Japanese Journal of Radiology,31,2, 99-104,2013
97	Fujita T., Tanabe M., Kobayashi T., Washida Y., Kato M., Iida E., Shimizu K., Matsunaga N.	Department of Radiology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube 7558505, Japan	Percutaneous gastrostomy tube placement using a balloon catheter in patients with head and neck cancer	Journal of Parenteral and Enteral Nutrition,37,1, 117-122,2013
98	Maekawa R., Sato S., Yamagata Y., Asada H., Tamura I., Lee L., Okada M., Tamura H., Takaki E., Nakai A., Sugino N.	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Biochemistry and Molecular Biology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Genome-Wide DNA Methylation Analysis Reveals a Potential Mechanism for the Pathogenesis and Development of Uterine Leiomyomas	PLoS ONE, 8,6,e66632,2013
99	Tamura H., Takasaki A., Taketani T., Tanabe M., Kizuka F., Lee L., Tamura I., Maekawa R., Asada H., Yamagata Y., Sugino N.	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube 755-8505, Japan; Department of Obstetrics and Gynecology, Saiseikai Shimonoseki General Hospital, Shimonoseki 759-6603, Japan	Melatonin as a free radical scavenger in the ovarian follicle	Endocrine Journal,60,1, 1-13,2013

100	Lee L., Asada H., Kizuka F., Tamura I., Maekawa R., Taketani T., Sato S., Yamagata Y., Tamura H., Sugino N.	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minamikogushi 1-1-1, Ube 755-8505, Japan	Changes in histone modification and DNA methylation of the StAR and Cyp19a1 promoter regions in granulosa cells undergoing luteinization during ovulation in rats	Endocrinology,154,1,458-470,2013
101	Oka F., Ishihara H., Kato S., Oku T., Yamane A., Kunitugu I., Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University School of Medicine, 1-1-1, Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Public Health, Yamaguchi University School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Cerebral hemodynamic benefits after carotid artery stenting in patients with near occlusion	Journal of Vascular Surgery,58,6,1512-1517,2013
102	Morihiro Y., Yasumoto Y., Vaidyan L.K., Sadahiro H., Uchida T., Inamura A., Sharifi K., Ideguchi M., Nomura S., Tokuda N., Kashiwabara S., Ishii A., Ikeda E., Owada Y., Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Organ Anatomy, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Research and Development Division, DS Pharma Biomedical Co., Ltd, Suita, Japan; Faculty of Health Sciences, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Fatty acid binding protein 7 as a marker of glioma stem cells	Pathology International,63,11,546-553,2013
103	Ideguchi M., Kajiwara K., Yoshikawa K., Sadahiro H., Nomura S., Fujii M., Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Characteristics of intraoperative abnormal hemodynamics during resection of an intra-fourth ventricular tumor located on the dorsal medulla oblongata	Neurologia Medico-Chirurgica,53,10,655-662,2013
104	Shinoyama M., Ideguchi M., Kida H., Kajiwara K., Kagawa Y., Maeda Y., Nomura S., Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Japan; Department of Systems Neuroscience, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Japan; Department of Neurosurgery, Ube Nishi Rehabilitation Hospital, Ube, Japan	Cortical region-specific engraftment of embryonic stem cell-derived neural progenitor cells restores axonal sprouting to a subcortical target and achieves motor functional recovery in a mouse model of neonatal hypoxic-ischemic brain injury	Frontiers in Cellular Neuroscience,-,AUG,-,2013
105	Koizumi H., Fujisawa H., Suehiro E., Iwanaga H., Nakagawara J., Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University School of Medicine, Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan.	Cortical damage following traumatic brain injury evaluated by iomazenil SPECT and in vivo microdialysis.	Acta neurochirurgica. Supplement,118,121-123,2013
106	Inamura A., Adachi Y., Inoue T., He Y., Tokuda N., Nawata T., Shirao S., Nomura S., Fujii M., Ikeda E., Owada Y., Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan; Department of Organ Anatomy, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan; Department of Pathology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan	Cooling treatment transiently increases the permeability of brain capillary endothelial cells through translocation of claudin-5	Neurochemical Research,38,8,1641-1647,2013
107	Yoneda H., Nakamura T., Shirao S., Tanaka N., Ishihara H., Suehiro E., Koizumi H., Isotani E., Suzuki M.	Department of Neurosurgery and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University School of Medicine, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Neurosurgery, Saitama Medical University General Medical Center, Saitama, Japan; Emergency and Critical Care Center, Tokyo Women's Medical University Medical Center East, Tokyo, Japan	Multicenter prospective cohort study on volume management after subarachnoid hemorrhage: Hemodynamic changes according to severity of subarachnoid hemorrhage and cerebral vasospasm	Stroke,44,8,2155-2161,2013
108	Maeda Y., Shirao S., Yoneda H., Ishihara H., Shinoyama M., Oka F., Sadahiro H., Ueda K., Sano Y., Kudomi S., Hayashi Y., Shigeeda T., Nakano K., Koizumi H., Nomura S., Fujii M., Suzuki M.	Department of Neurosurgery and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Radiology, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Japan; Department of Clinical Laboratory, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Japan	Comparison of lumbar drainage and external ventricular drainage for clearance of subarachnoid clots after Guglielmi detachable coil embolization for aneurysmal subarachnoid hemorrhage	Clinical Neurology and Neurosurgery,115,7,965-970,2013

109	Ishihara H., Kunitsugu I., Nomura S., Koizumi H., Yoneda H., Shirao S., Oka F., Morihiro Y., Yoshino H., Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Seasonal variation in the incidence of aneurysmal subarachnoid hemorrhage associated with age and gender: 20-year results from the Yamaguchi cerebral aneurysm registry	Neuroepidemiology, 41, 1, 7-12, 2013
110	Oka F., Ishihara H., Kato S., Higashi M., Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University, School of Medicine, 1-1-1, Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan	Cerebral hemodynamic benefits after contralateral carotid artery stenting in patients with internal carotid artery occlusion	American Journal of Neuroradiology, 34, 3, 616-621, 2013
111	He Y., Fujii M., Inoue T., Nomura S., Maruta Y., Oka F., Shirao S., Owada Y., Kida H., Kunitsugu I., Yamakawa T., Tokiwa T., Yamakawa T., Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube, Yamaguchi 755 8505, Japan; Organ Anatomy, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Japan; Systems Neuroscience, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Japan; Public Health, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Japan; Department of Electrical and Electronics Engineering, Faculty of Engineering, Shizuoka University, Japan; Graduate School of Life Science and Systems Engineering, Kyushu Institute of Technology, Japan; Consortium for Advanced Epilepsy Treatment (CADET), Japan	Neuroprotective effects of focal brain cooling on photochemically-induced cerebral infarction in rats: Analysis from a neurophysiological perspective	Brain Research, 1497, 53-60, 2013
112	Ishihara H., Oka F., Shirao S., Kato S., Sadahiro H., Osaki M., Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University School of Medicine, Minamikogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan	Cognitive outcome differences on the side of carotid artery stenting	Journal of Vascular Surgery, 57, 1, 125-130, 2013
113	Sugimoto K, Ideguchi M, Sadahiro H, Yoshikawa K, Goto H, Nomura S, Fujii M, Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University School of Medicine, Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan.	Yolk sac tumor of the bilateral basal ganglia in a patient with Down syndrome.	Brain Tumor Pathol., 30, 4, 247-252, 2013
114	Mishima K., Nakano A., Shiraishi R., Ueyama Y.	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Minami-kogushi 1-1-1, Ube City, Yamaguchi, 755-8505, Japan	Range image of the velopharynx produced using a 3-D endoscope with pattern projection	Laryngoscope, 123, 12, E122-E126, 2013
115	Mishima K., Moritani N., Nakano H., Matsushita A., Iida S., Ueyama Y.	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Minami-kogushi 1-1-1, Ube City, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Oral and Maxillofacial Reconstructive Surgery, Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University, Japan	Voice characteristics before versus after mandibular setback surgery in patients with mandibular prognathism using nonlinear dynamics and conventional acoustic analyses	Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery, 41, 8, 706-709, 2013
116	Ferdous T., Harada K., Kin T., Harada T., Ueyama Y.	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1, Minamikogushi, Ube 755-8505, Japan	Efficacy of schedule-dependent metronomic S-1 chemotherapy in human oral squamous cell carcinoma cells	International Journal of Oncology, 43, 1, 271-279, 2013
117	Mano T., Mori Y., Kato Y., Nakano H., Ueyama Y.	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan; Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Kyushu University Graduate School of Dentistry, Japan	Closure of oro-antral fistula after partial maxillectomy using laterally based tongue flap: A case report	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, 25, 3, 244-246, 2013
118	Nakano H., Mishima K., Matsushita A., Suga H., Miyawaki Y., Mano T., Mori Y., Ueyama Y.	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Minami-kogushi 1-1-1, Ube City Yamaguchi 755-8505, Japan; Miyawaki Orthodontic Clinic, Ube City, Japan; Department of Oral and Maxillofacial Surgery II, Kyushu University, Graduate School of Dentistry, Fukuoka, Japan	Orthognathic surgery in an acromegalic patient with obstructive sleep apnea syndrome	Sleep and Breathing, 17, 1, 29-32, 2013

119	Nakano H., Mishima K., Ueda Y., Matsushita A., Suga H., Miyawaki Y., Mano T., Mori Y., Ueyama Y.	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Minami-kogushi 1-1-1, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Radiological Technology, Yamaguchi University Hospital, Ube City, Yamaguchi, Japan; Miyawaki Orthodontic Clinic, Ube City, Yamaguchi, Japan; Department of Oral and Maxillofacial Surgery II, Kyushu University Graduate School of Dentistry Fukuoka, Fukuoka, Japan	A new method for determining the optimal CT threshold for extracting the upper airway	Dentomaxillofacial Radiology,42,3,-,2013
120	Takenawa T., Kuramitsu Y., Wang Y., Okada F., Tokuda K., Kitagawa T., Ueyama Y., Nakamura K.	Departments of Oral and Maxillofacial Surgery, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Biochemistry and Functional Proteomics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Molecular and Cellular Biology, Tottori University School of Life Sciences, Yonago, Japan	Proteomic analysis showed down-regulation of nucleophosmin in progressive tumor cells compared to regressive tumor cells	Anticancer Research,33,1, 153-160,2013
121	Suehiro Y., Okada T., Shikamoto N., Zhan Y., Sakai K., Okayama N., Nishioka M., Furuya T., Oga A., Kawauchi S., Maeda N., Tamesa M., Nagashima Y., Yamamoto S., Oka M., Hinoda Y., Sasaki K.	Department of Oncology and Laboratory Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan; Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology (Surgery II), Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan	Germline copy number variations associated with breast cancer susceptibility in a Japanese population	Tumor Biology,34,2, 947-952,2013
122	Nishioka M., Ueno K., Hazama S., Okada T., Sakai K., Suehiro Y., Okayama N., Hirata H., Oka M., Imai K., Dahiya R., Hinoda Y.	Department of Oncology and Laboratory Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Urology, Veterans Affairs Medical Center, University of California at San Francisco, San Francisco, CA, United States; Department of Surgery II, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Research Hospital of Institute of Medical Science, University of Tokyo, Tokyo, Japan	Possible involvement of Wnt11 in colorectal cancer progression	Molecular Carcinogenesis,52,3,207-217, 2013
123	Suehiro Y., Furuya T., Sasaki K., Hinoda Y.	Department of Oncology and Laboratory Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube 755-8505, Japan.	[DNA polymorphisms].	Rinsho byori. The Japanese journal of clinical pathology,61,11, 1001-1007,2013
124	Marumoto M, Yamasaki T, Marumoto Y, Saeki I, Harima Y, Urata Y, Hidaka I, Ishikawa T, Takami T, Segawa M, Yamaguchi Y, Uchida K, Terai S, Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, 7558505, Japan	Systemic gemcitabine combined with hepatic arterial infusion chemotherapy with cisplatin, 5-fluorouracil, and isovorin for the treatment of advanced intrahepatic cholangiocarcinoma: a pilot study.	Hepatogastroenterology,61,129, 162-167,2014

125	Terai S, Takami T, Yamamoto N, Fujisawa K, Ishikawa T, Urata Y, Tanimoto H, Iwamoto T, Mizunaga Y, Matsuda T, Oono T, Marumoto M, Burganova G, Fernando Quintanilha L, Hidaka I, Marumoto Y, Saeki I, Uchida K, Yamasaki T, Tani K, Taura Y, Fujii Y, Nishina H, Okita K, Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, 7558505, Japan	Status and prospects of liver cirrhosis treatment by using bone marrow-derived cells and mesenchymal cells.	Tissue Eng Part B Rev.,20,3, 206-210,2014
126	Ishikawa T, Shiratsuki S, Matsuda T, Iwamoto T, Takami T, Uchida K, Terai S, Yamasaki T, Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, 7558505, Japan	Occlusion of portosystemic shunts improves hyperinsulinemia due to insulin resistance in cirrhotic patients with portal hypertension.	J Gastroenterol., Epub ahead of print,-,2013
127	Oono T, Yamasaki T, Zaito J, Saeki I, Iwamoto T, Harima Y, Marumoto Y, Hidaka I, Urata Y, Ishikawa T, Takami T, Segawa M, Uchida K, Terai S, Kunitugu I, Tanabe T, Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, 7558505, Japan	Association of tyrosine with insulin resistance in hepatitis C virus-related chronic liver disease.	Hepatol Res., Epub ahead of print,-,2013
128	Zaito J, Yamasaki T, Saeki I, Harima Y, Iwamoto T, Harima Y, Matsumoto T, Urata Y, Hidaka I, Marumoto Y, Ishikawa T, Takami T, Yamamoto N, Kaino S, Uchida K, Terai S, Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, 7558505, Japan	Serum transferrin as a predictor of prognosis for hepatic arterial infusion chemotherapy in advanced hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res.,44,5,481-490, 2013
129	Saeki I, Terai S, Fujisawa K, Takami T, Yamamoto N, Matsumoto T, Hirose Y, Murata Y, Yamasaki T, Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, 7558505, Japan	Bortezomib induces tumor-specific cell death and growth inhibition in hepatocellular carcinoma and improves liver fibrosis.	J Gastroenterol.,48,6,738-750, 2013
130	Okada T, Nakamura M, Nishikawa J, Sakai K, Zhang Y, Saito M, Morishige A, Oga A, Sasaki K, Suehiro Y, Hinoda Y, Sakaida I.	1 Department of Oncology and Laboratory Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan 2 Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan 3 Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Identification of genes specifically methylated in Epstein-Barr virus-associated gastric carcinomas.	Cancer Sci.,104, 10,1309-1314, 2013
131	Matsui K, Kim-Mitsuyama S, Ogawa H, Jinnouchi T, Jinnouchi H, Arakawa K	Department of General Medicine, Yamaguchi University Hospital, Minami-Kogushi 1-1-1, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan; Center of Reparative Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Sex differences in response to angiotensin II receptor blocker-based therapy in elderly, high-risk, hypertensive Japanese patients: a subanalysis of the OSCAR study.	Hypertension Research,37,6, 526-532,2014

132	Ishii A., Kawano H., Tanaka S., Yamamoto Y., Nakamoto T., Hirose Y., Yamashita H., Morinaga S., Ikeda E.	Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan.	Non-sebaceous lymphadenoma of the salivary gland with serous acinic cell differentiation, a first case report in the literature.	Pathology international,63, 5,272-276,2013
133	Ito H., Furuya C., Yamanouchi T., Ikemoto K., Katoh T., Onoda M., Kondo T., Oga A.	Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Pathology, Yamaguchi Rosai Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Laboratory Science, Yamaguchi Rosai Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Surgery, Yamaguchi Rosai Hospital, Yamaguchi, Japan	A case of gastric adenocarcinoma with conspicuous binuclear cytologic features	Cancer Genetics,206, 7-8,304-307, 2013
134	Amakawa G., Ikemoto K., Ito H., Furuya T., Sasaki K.	Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Quantitative Analysis of Centromeric FISH Spots during the Cell Cycle by Image Cytometry	Journal of Histochemistry and Cytochemistry,6 1,10,699-705, 2013
135	Ito H., Oga A., Furuya T., Ikemoto K., Amakawa G., Chochi Y., Kawauchi S., Sasaki K.	Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Social Insurance Alliance Shimonoseki Kohsei Hospital, Ube, Japan	Elucidation of proliferative capability of mononuclear tetraploid cells, emerging spontaneously from diploid cells, using image cytometry and fluorescence in situ hybridization	Cell Proliferation, 46,3,356-363, 2013
136	Harumasa Hakuno, Shigeharu Oie, Hiroyuki Furukawa	Department of Pharmacy, Yamaguchi University Hospital, Minami-Kogushi 1-1-1, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan	Contamination of wheelchairs by Staphylococcus aureus	Journal of Hospital Administration,1 2,2,55-60,2013
137	Masanobu Sawa, Shigeharu Oie, Hiroyuki Furukawa	Department of Pharmacy, Yamaguchi University Hospital, Minami-Kogushi 1-1-1, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan	Efficacy of Disinfectants against Naturally Occurring and Artificially Cultivated Bacteria	Biol. Pharm. Bull,36,3, 360-363,2013
138	Yamasaki H, Oie S, Miyano N, Furukawa H	Department of Pharmacy, Yamaguchi University Hospital, Minami-Kogushi 1-1-1, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan	Residual amount of vancomycin hydrochloride in vials after use	J Infect Chemother,19,4, 639-643,2013
139	Hakuno H, Oie S, Furukawa H	Department of Pharmacy, Yamaguchi University Hospital, Minami-Kogushi 1-1-1, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan	Contamination of wheelchairs by Staphylococcus aureus	J Hosp administration,2, ,55-60,2013
140	Matsuo M, Oie S, Furukawa H	Department of Pharmacy, Yamaguchi University Hospital, Minami-Kogushi 1-1-1, Ube Yamaguchi 755-8505, Japan	Contamination of blood pressure cuffs by methicillin-resistant Staphylococcus aureus and preventive measures	Ir J Med Sci, 182,4,707-709, 2013

計 140

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限り)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。
- 5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

## (2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan.	[Programs for continuing medical education: a session; 1. Current therapies for liver cirrhosis and hepatocellular carcinoma].	Nihon Naika Gakkai zasshi. The Journal of the Japanese Society of Internal Medicine,102,3, 594-599,2013
2	Okuda S., Yano M.	Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan.	[Excitation-contraction coupling and intracellular calcium cycling in failing hearts].	Clinical calcium,23,4, 471-480,2013
3	Ikeda Y.	Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan.	[Modification of sarco-endoplasmic reticulum Ca <sup>2+</sup> -ATPase in the failing cardiomyocyte].	Clinical calcium,23,4, 535-542,2013
4	Ohta Y., Tanizawa Y.	Division of Endocrinology, Metabolism, Hematological Sciences and Therapeutics, Department of Bio-Signal Analysis, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine.	[Insulin secretion and insulin resistance].	Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine,71,11, 1936-1940,2013
5	Taguchi A., Tanizawa Y.	Department of Diabetes Research, Yamaguchi University School of Medicine, Japan; Division of Endocrinology, Metabolism, Hematological Science and Therapeutics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Incretin: Blood glucose-lowering effects and beta-cell protection	Respiration and Circulation,61,1, 11-18,2013
6	Kanda T.	Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Blood-nerve barrier and peripheral nerve regeneration	Clinical Neurology,53,11, 1120-1122,2013
7	Koga M.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	A nationwide survey of patients with Bickerstaff brainstem encephalitis: Diversity of underlying mechanism	Clinical Neurology,53,11, 1322-1324,2013
8	Koga M., Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan.	[New and future treatments for neurological disorders--knowledge essential to daily clinics and future prospects. Topics: 7. Encephalitis and prion disease].	Nihon Naika Gakkai zasshi. The Journal of the Japanese Society of Internal Medicine,102,8, 1958-1964,2013
9	Koga M.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine.	[Bickerstaff brainstem encephalitis: epidemiology, diagnosis, and therapy].	Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine,71,5, 898-903,2013
10	Maeda T., Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine.	[Blood-brain barrier and blood-nerve barrier in neuroinflammatory diseases].	Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine,71,5, 789-794,2013
11	Koga M.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Acute pandysautonomia and nicotinic acetylcholine receptor antibodies	Brain and Nerve,65,4, 425-432,2013
12	Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Current concept of blood-brain barrier	Brain and Nerve,65,2, 117-120,2013
13	Shimizu F., Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Disruption of the blood-brain barrier in inflammatory neurological diseases	Brain and Nerve,65,2, 165-176,2013

14	神田 隆	山口大学 大学院医学系研究科神経内科学	神経内科治療ノート. ギラン・バレー症候群.	Clinical Neuroscience,31,4,482-483,2013
15	神田 隆	山口大学 大学院医学系研究科神経内科学	自己免疫性ニューロパチーと自律神経障害. 病態と病理.	自律神経,50,4,250-253,2013
16	中野 雄太, 尾本 雅俊, 神田 隆	山口大学 大学院医学系研究科神経内科学	【Guillain-Barre症候群とその類縁疾患】 Guillain-Barre症候群の末梢神経病理	神経内科,78,1,81-88,2013
17	小笠原 淳一, 神田 隆	山口大学 大学院医学系研究科神経内科学	【神経疾患-その多彩な症状と診断手順】 診断の方法と手順 感覚障害	Clinical Neuroscience,31,5,584-586,2013
18	前田 敏彦, 神田 隆	山口大学 大学院医学系研究科神経内科学	【足の特異な症候】 多発ニューロパチーによる足の症候	脊椎脊髄ジャーナル,26,7,741-746,2013
19	清水 文崇, 神田 隆	山口大学 大学院医学系研究科神経内科学	血液神経関門と自己免疫性ニューロパチー	末梢神経,24,1,54-62,2013
20	中野 雄太, 神田 隆	山口大学 大学院医学系研究科神経内科学講座	【末梢神経診療update】 ニューロパチーの病理診断	Brain Medical,25,3,209-215,2013
21	古賀 道明	山口大学 大学院医学系研究科神経内科学	【末梢・中枢神経疾患の自律神経障害に対する治療】 自律神経ニューロパチーの治療	神経治療学,30,1,11-15,2013
22	古賀 道明	山口大学 大学院医学系研究科神経内科学	ギラン・バレー症候群に対するアフレシス療法	日本アフレシス学会雑誌,32,3,181-184,2013
23	森景則保, 佐村 誠, 山下 修, 村上 雅憲, 末廣晃太郎, 濱野公一	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, School of Medicine, Minami-Kogushi1-1-1, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	内臓動脈瘤に対する当科の治療戦略-手術治療(外科的手術、血管内治療)と保存的治療の予後-	日本血管外科学会雑誌,22,3,633-639,2013
24	田中裕也, 上田和弘, 林 雅太郎, 田中俊樹, 濱野公一	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, School of Medicine, Minami-Kogushi1-1-1, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	前胸壁の広範囲欠損部をePTFEメッシュにて再建した再発性軟骨肉腫の1例	日本呼吸器外科学会雑誌,27,5,600-604,2013
25	安楽由利子, 美甘 章仁, 中村玉美, 田中裕也, 藏澄宏之, 鈴木 亮, 高橋雅弥, 白澤文吾, 濱野公一	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, School of Medicine, Minami-Kogushi1-1-1, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	胸腔鏡下左室心外膜リード植込み術において術前至適移植部位予測が有用であった1例	胸部外科,66,12,1087-1090,2013
26	河村大智, 永瀬 隆, 佐村 誠, 山下 修, 村上雅憲, 末廣晃太郎, 森景則保, 濱野公一	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, School of Medicine, Minami-Kogushi1-1-1, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	緊急ステントグラフト内挿術で治療した破裂性腹部大動脈瘤の4例	山口医学,62,4,205-210,2013
27	鈴木 亮, 美甘 章仁, 田中裕也, 工藤 智明, 藏澄宏之, 高橋雅弥, 白澤文吾, 濱野公一	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, School of Medicine, Minami-Kogushi1-1-1, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	手術が困難な大動脈弁狭窄症に対するapico-aortic valved conduit	胸部外科,66,13,1132-1136,2013
28	Kitahara M., Kanekiyo S., Yamamoto T., Watanabe Y., Takeda S., Ueno T., Yoshino S., Hazama S., Oka M.	Dept. of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine.	[A case of cytomegalovirus colitis during chemotherapy for esophageal cancer].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy, 40,12,2127-2129, 2013
29	Yamamoto T., Maeda Y., Inoue Y., Tamesa T., Sakamoto K., Tokuhisa Y., Hashimoto N., Tokumitsu Y., Ueno T., Hazama S., Oka M.	Dept. of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine.	[A case of hepatectomy for liver metastases of advanced colon cancer after conversion therapy].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy,40,12,1837-1839, 2013

30	Yamada K., Sakamoto K., Tamesa T., Matsui H., Shindo Y., Tokumitsu Y., Hashimoto N., Iida M., Maeda Y., Tokuhisa Y., Suzuki N., Yoshimura K., Ueno T., Takahashi M., Shibuya K., Kondo T., Oka M.	Dept. of Digestive Surgery and Surgical Oncology (Dept. of Surgery II), Yamaguchi University Graduate School of Medicine.	[A resected case of hilar cholangiocarcinoma treated with neoadjuvant chemoradiation therapy].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy,4 0,12,1756-1758, 2013
31	Shindo Y., Hazama S., Maeda Y., Sakamoto K., Tamesa T., Yoshino S., Tanaka S., Kawano H., Oka M.	Dept. of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine.	[A case of rectal carcinoid tumor with lymph node and liver metastasis 5 years after curative resection].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy,4 0,12,2080-2082, 2013
32	Kijima T., Kanekiyo S., Nakasuga C., Inoue Y., Shindo Y., Tsutsui M., Yoshino S., Kubo M., Yano M., Bimoto M., Kanda T., Hazama S., Oka M.	Dept. of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine.	[A case report of a patient with overlap syndrome systemic lupus erythematosus( SLE) and polymyositis( PM)whose condition improved following treatment for coexisting descending colon cancer].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy,4 0,12,1936-1938, 2013
33	Tamesa T., Sakamoto K., Kuwahara T., Hashimoto N., Tokumitsu Y., Shindo Y., Iida M., Tokuhisa Y., Maeda Y., Suzuki N., Yoshimura K., Ueno T., Yoshino S., Hazama S., Oka M.	Dept. of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine.	[A case of hepatocellular carcinoma with Vp4 tumor thrombus treated by radiation therapy before hepatectomy].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy,4 0,12,1807-1809, 2013
34	小笠博義、田口敏彦	山口大学整形外科	学童期スポーツ障害のアンケート調査から整形外科医として考えること～卓球競技より～	中国・四国整形 外科学会雑誌, 25,1,37-39, 2013
35	田邨一訓、村松慶一、橋本貴弘、富永康弘、田口敏彦、伊原公一郎	山口大学整形外科、国立病院機構関門医療センター	腓骨神経内ガングリオンの治療経験	中国・四国整形 外科学会雑誌, 25,1,165-169, 2013
36	西田周泰、田口敏彦	山口大学大学院医学系研究科整形外科	脊髄圧迫の形態別応力解析	関節外科,32, 5,15-20,2013
37	吉田佑一郎、寒竹司、今城靖明、鈴木秀典、田口敏彦	山口大学大学院医学系研究科整形外科	腰部脊柱管狭窄症による下垂足の検討	中部日本整形外 科災害外科学会 雑誌,56,3, 763-764,2013
38	富永康弘、村松慶一、橋本貴弘、瀬戸信一朗、田口敏彦	山口大学医学部整形外科	肘周辺転移性腫瘍による病的骨折に対して人口肘関節置換術を行った2例	整形外科と災害 外科,62,3, 596-598,2013
39	瀬戸信一朗、村松慶一、橋本貴弘、富永康弘、田口敏彦	山口大学医学部附属病院整形外科	β-TCPを用いた良性骨腫瘍の治療成績—オスフェリオンRとスーパーポアRの比較研究—	整形外科と災害 外科,62,3, 607-611,2013
40	永尾祐治、今釜崇、徳重厚典、目昭仁、関 万成、武藤正記、田口敏彦	山口大学整形外科	強直性脊椎炎に対し両側大径骨頭 metal on metal 人工股関節全置換術を施行した1例	整形外科と災害 外科,62,4, 703-706,2013
41	小笠博義、田口敏彦	山口大学大学院医学系研究科整形外科	Intrafocal pin を利用した小児上腕骨顆上骨折の治療成績	中部日本整形外 科災害外科学会 雑誌整形外科災 害外科学会雑誌, 56,6, 1365-1366,2013

42	Ichimiya M., Muto M.	Department of Dermatology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Japan	Negative-pressure suction therapy for epidermal cysts	Nishinohon Journal of Dermatology, 75, 3, 234-236, 2013
43	Nakamura Y., Nemoto K., Yamaguchi M., Ichimiya M., Muto M.	Division of Dermatology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Japan	A case of giant cell arteritis in which color duplex ultrasonography was useful for making the diagnosis	Nishinohon Journal of Dermatology, 75, 3, 200-203, 2013
44	Nakamura Y., Ichimiya M., Nemoto K., Nakamura Y., Yamaguchi M., Yamada K., Yamamoto S., Oka M., Muto M.	Department of Dermatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan; Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	A case of giant phyllodes tumor of the breast	Nishinohon Journal of Dermatology, 75, 6, 514-517, 2013
45	武藤正彦	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学分野	ヒト生体試料を利用した医学研究への実践的対応	山口医学, 62, 4, 199-204, 2013
46	一宮誠、柏木圭介、武藤正彦	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学分野	内視鏡を用いて鼠径および骨盤内リンパ節郭清術を施行した2例	形成外科, 56, 2, 223-228, 2013
47	一宮誠、柏木圭介、若松研弥、武藤正彦	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学分野	Chronic expanding hematomaを疑った外傷性横紋筋融解症の1例	臨床皮膚科, 67, 10, 822-824, 2013
48	若松研弥、浪花研一郎、竹本朱美、一宮誠、武藤正彦	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学分野	高齢者に生じたStreptococcus Equisimilisによる壊死性筋膜炎の2救命例	加齢皮膚医学セミナー, 8, -, 57-59, 2013
49	Shiraishi K., Nishijima Hideyasu Matsuyama J.U.N.	Department of Urology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Experience of microdissection testicular sperm extraction: Initial 250 cases	Nishinohon Journal of Urology, 75, 7, 345-351, 2013
50	Hara T., Kobayashi K., Nishijima J., Kawai S., Matsumoto H., Nagao K., Sakano S., Matsuyama H.	Department of Urology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Clinical results of second transurethral resection for T1/high-grade bladder cancer	Nishinohon Journal of Urology, 75, 6, 311-317, 2013
51	Nagata Y., Hara T., Matsuyama H., Isoyama R.	Department of Urology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Isoyama Urological Clinic, Ube, Japan	Castration-resistant prostate cancer and muscle invasive bladder cancer treated with gdc-therapy: A case report	Nishinohon Journal of Urology, 75, 1, 22-26, 2013
52	森重 直行	〒755-8508 山口県宇部市南小串1-1-1, 山口大学大学院医学系研究科眼科学	水疱性角膜症の癒痕形成の検出と臨床定期意義	山口医学, 62, 2, 85-90, 2013
53	園田 康平	〒755-8508 山口県宇部市南小串1-1-1, 山口大学大学院医学系研究科眼科学	後部・汎ぶどう膜炎	Monthly Book OCULISTA, 5, 8, 49-56, 2013
54	柳井 亮二	〒755-8508 山口県宇部市南小串1-1-1, 山口大学大学院医学系研究科眼科学	神経麻痺性角膜症の病態解明、治療薬開発進むFGLM-NH2+SSSR点眼療法の有用性に期待	メディカルトリビューン, 6, 0, 8, 2013
55	柳井 亮二	〒755-8508 山口県宇部市南小串1-1-1, 山口大学大学院医学系研究科眼科学	神経麻痺性角膜症	眼科疾患 最新の治療2013-2015, 0, 0, 108-108, 2013
56	柳井 亮二	〒755-8508 山口県宇部市南小串1-1-1, 山口大学大学院医学系研究科眼科学	神経麻痺性角膜症に対する最新の治療法	あたらしい眼科, 30, 8, 1123-1125, 2013
57	園田 康平, 吉田倫子, 近藤 峰生	〒755-8508 山口県宇部市南小串1-1-1, 山口大学大学院医学系研究科眼科学	ヒト、マウスの網膜色素変性症における眼内炎症反応	Retina Medicine, 2, 2, 83-90, 2013
58	森重 直行, 植田喜一	〒755-8508 山口県宇部市南小串1-1-1, 山口大学大学院医学系研究科眼科学	アcantアマーバ角膜炎	臨床眼科 図で早わかり実践! 眼科薬理, 67, 11, 66-71, 2013

59	森重 直行	〒755-8508 山口県宇部市南小串1-1-1, 山口大学大学院医学系研究科眼科学	カタル性角膜湿潤	眼科疾患 最新の治療2013-2015,0,0,122-122,2013
60	森重 直行	〒755-8508 山口県宇部市南小串1-1-1, 山口大学大学院医学系研究科眼科学	角膜障害とドライアイー糖尿病との関連ー	月刊糖尿病ライフ さかえ,0,12,26-29,2013
61	山田 直之, 園田 康平	〒755-8508 山口県宇部市南小串1-1-1, 山口大学大学院医学系研究科眼科学	アレルギー性結膜炎	免疫・アレルギー疾患イラストレイテッド,0,0,340-342,2013
62	山田 直之	〒755-8508 山口県宇部市南小串1-1-1, 山口大学大学院医学系研究科眼科学	円錐角膜	眼科ケア 目の解剖と病氣,0,2013年冬期増刊,92-95,2013
63	山田 直之, 園田 康平	〒755-8508 山口県宇部市南小串1-1-1, 山口大学大学院医学系研究科眼科学	結膜炎	臨床フロンティア 風邪症候群と関連疾患ーそのすべてを知らう,0,0,108-112,2013
64	山田 直之	〒755-8508 山口県宇部市南小串1-1-1, 山口大学大学院医学系研究科眼科学	角膜ジストロフィ	眼科ケア 目の解剖と病氣,0,0,96-101,2013
65	柳井 亮二	〒755-8508 山口県宇部市南小串1-1-1, 山口大学大学院医学系研究科眼科学	特殊なアサインのハードコンタクトレンズ 1. ダブルベベルハードコンタクトレンズーベールーシド角膜辺縁変性攻略法	あたらしい眼科,30,10,1369-1374,2013
66	狩野有加莉, 下郡 博明, 菅原一真, 樽本俊介, 山下裕司.	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	内視鏡下に摘出した先天性外耳道真珠腫例.	耳鼻咽喉科臨床,106,9,779-781,2013
67	原 浩貴, 山下裕司.	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	アレルギー性鼻炎.	日本臨牀 最新臨床睡眠学,71,-,612-617,2013
68	橋本 誠, 山下裕司.	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	めまいで発症した脳血管障害.	ENTON,1,57,-,28-32,2013
69	原 浩貴	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	喉頭微細手術	JOHNS,29,4,739-742,2013
70	菅原一真, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	抗菌薬の適正使用とは何かーいつ増量し, いつスイッチするかー(山口県の臨床データより)	日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌,31,1,35-39,2013
71	原 浩貴, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	耳鼻咽喉科領域の病診連携を考えるー重症化を防ぐためにー扁桃周囲膿瘍, 急性喉頭蓋炎	日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌,31,1,67-71,2013
72	下郡博明, 菅原一真, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	中耳炎手術と耳漏細菌検査	日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌,31,1,153-156,2013
73	御厨剛史, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	急患・急変対応マニュアル そのとき必要な処置と処方 内視鏡下副鼻腔手術時の視神経管損傷	耳鼻咽喉科・頭頸部外科,85,5,304-308,2013
74	下郡博明, 菅原一真, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	先天性真珠腫疑い例の自然消褪過程	耳鼻咽喉科臨床,106,6,505-508,2013
75	御厨剛史, 菅原一真, 橋本誠, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	山口県における2012年黄砂飛散と鼻症状の関係についての調査	耳鼻咽喉科免疫アレルギー,31,2,110-111,2013
76	菅原一真, 御厨剛史, 橋本誠, 原浩貴, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	プラナルカスト, ステロイド点鼻薬を併用した初期療法ー3年間の検討ー	耳鼻咽喉科免疫アレルギー,31,2,147-148,2013
77	原浩貴	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	深頸部感染症・縦隔洞炎の取り扱いー耳鼻咽喉科ー	日本気管食道学会「専門医通信」,46,-,18-24,2013

78	原浩貴	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	第64回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会 パネルディスカッション 音声外科教育・診療のコツ～音声外科手術を始めるために～	日本気管食道科学会会報,64,2,123-123,2013
79	原浩貴, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	咽頭痛一急性喉頭蓋炎, 扁桃周囲膿瘍	耳鼻咽喉科・頭頸部外科,85,11,856-862,2013
80	菅原一真, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	耳鼻咽喉科領域のサプリメント	耳鼻咽喉科・頭頸部外科,85,12,1006-1011,2013
81	菅原一真, 御厨剛史, 橋本誠, 原浩貴, 大久保公裕, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	ブランルカスト水和物と鼻噴霧用ステロイド薬を併用した花粉症初期療法(3年間の検討)	アレルギー・免疫,20,12,114-122,2013
82	原浩貴, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	糖尿病と睡眠時無呼吸	ENTONI,161,-,60-64,2013
83	菅原一真, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	糖尿病と感音難聴	ENTONI,161,-,26-31,2013
84	原浩貴, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	内視鏡検査の合併症と対策	JOHNS,30,2,154-156,2014
85	中津愛子, 橋本誠, 菅原一真, 山下兼司, 池田卓生, 下郡博明, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	難聴児の療育と支援に関わる問題点の検討	Audiology Japan,56,-,735-742,2013
86	福田裕次郎, 花井信広, 小澤泰次郎, 平川 仁, 鈴木秀典, 小出悠介, 木村隆浩, 別府慎太郎, 中多祐介, 西川大輔, 山下裕司, 長谷川泰久.	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	頭頸部再建手術における術後せん妄の検討	頭頸部外科,23,3,445-450,2014
87	狩野有加莉, 竹本洋介, 藤原由貴, 菅原一真, 下郡博明, 山下裕司.	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	診断に苦慮した結核性中耳炎症例	日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会誌,2,1,38-41,2014
88	菅原一真, 狩野有加莉, 橋本 誠, 下郡博明, 山下裕司.	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	改善の乏しい小児急性中耳炎症例に対するテビペネムピボキシルの効果について	日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会誌,2,1,19-22,2014
89	原 浩貴, 橋本 誠, 山下裕司.	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	DICOM viewerを用いた咽喉頭手術の術前プランニングーOSAS手術における流体解析併用の試みー	耳鼻咽喉科展望,56,5,308-310,2013
90	橋本 誠, 御厨剛史, 山本陽平, 原浩貴, 山下裕司.	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	OsiriXを用いた咽喉頭手術プランニングとしてのCT・MRIフュージョン画像作成	耳鼻咽喉科展望,56,5,306-307,2013
91	Okada M., Matsunaga N.	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan.	[Atherosclerosis: progress in diagnosis and treatments. Topics: III. Progress in diagnosis of atherosclerosis; 3. CT and MR imaging of atherosclerosis].	Nihon Naika Gakkai zasshi. The Journal of the Japanese Society of Internal Medicine,102,2,325-334,2013
92	Okada M., Matsunaga N., Nakashima Y., Kunihiro Y.	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Spectrum of CT finding in aortic aneurysm	Japanese Journal of Clinical Radiology,58,1,59-68,2013
93	Harada K., Harada T., Ueyama Y.	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Basic research on the combined effect of molecular-targeted agent Cetuximab and S-1 on oral squamous cell Carcinomas	Japanese Journal of Head and Neck Cancer,39,3,317-324,2013
94	藤田基, 鶴田良介	山口大学医学部附属病院先進救急医療センター	一酸化炭素中毒間歇型の病態と予防	日本集中治療医学会雑誌,20,3,373-379,2013

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 ①山口大学医学部附属病院における臨床研究等の実施に係る標準業務手順書 ②山口大学医学部附属病院医薬品等治験・臨床研究等審査委員会における臨床研究等の審査に係る標準業務手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 ①国立大学法人山口大学利益相反・責務相反マネジメントポリシー ②国立大学法人山口大学における臨床研究に係る利益相反ポリシー ③国立大学法人山口大学利益相反マネジメント要項 ④国立大学法人山口大学利益相反・責務相反マネジメント委員会規則 ⑤山口大学医学部附属病院における臨床研究に係る利益相反の審査手順	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六

年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年4回
<p>・研修の主な内容</p> <p>臨床研究の倫理に関する講習は、毎年4回開催している（④については、中国地区等の地域を含め実施しており、岡山大学・広島大学・山口大学で持ち回り実施を行っている）。</p> <p>内容としては、「倫理指針概念」、「研究計画書、同意説明文書の作成方法」、「被験者保護」、「個人情報・データの取り扱い」、「利益相反」等をテーマとしている。</p> <p>平成25年度の開催実績は、以下のとおり。</p> <p>①第1回臨床研究講習会 平成25年4月10日（水）</p> <p>②第2回臨床研究講習会 平成25年7月10日（水）</p> <p>③第7回 山口県臨床研究・治験推進セミナー 平成25年10月5日（土）</p> <p>④第7回 中国地区臨床研究・治験活性化連絡協議会 平成26年1月25日（土）</p>	

(注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

山口大学医学部附属病院における専門医研修プログラムについては、本院の各診療科(部)長の管理のもとに、本院が専門基幹研修施設となり、主に山口県内の各医療圏の中核病院を専門研修連携施設として、専門研修施設群を形成し、基本領域専門医からサブスペシャリティ専門医まで取得可能となるように、体系的に研修プログラムを策定し、大学病院及び地域中核病院の医療現場において、数多くの症例を経験することによって、各診療領域における実践的かつ高度な専門的診療能力(知識及び技能)の育成を図っている。

また、本院においては、専門医研修を行いながら、山口大学大学院医学系研究科に進学し、学位を取得することが可能となっており、今後の医療の発展を支えるリサーチマインドを有する臨床医の養成を推進している。

2 研修の実績

研修医の人数	147人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
坂井田 功	第一内科	科長	32年	
矢野 雅文	第二内科	科長	31年	
谷澤 幸生	第三内科	科長	31年	
神田 隆	神経内科	科長	33年	
渡邊 義文	精神科神経科	科長	39年	
大賀 正一	小児科	科長	30年	
濱野 公一	第一外科	科長	29年	
碓 彰一	第二外科	副科長	28年	
田口 敏彦	整形外科	科長	34年	
武藤 正彦	皮膚科	科長	35年	
松山 豪泰	泌尿器科	科長	33年	
園田 康平	眼科	科長	23年	
山下 裕司	耳鼻咽喉科	科長	30年	
松永 尚文	放射線科	科長	37年	
澁谷 景子	放射線治療科	科長	23年	
杉野 法広	産科婦人科	科長	29年	
松本 美志也	麻酔科蘇生科	科長	30年	
鈴木 倫保	脳神経外科	科長	35年	
上山 吉哉	歯科口腔外科	科長	31年	
山崎 隆弘	検査部	部長	28年	
鶴田 良介	先進救急医療センター	センター長	24年	
池田 栄二	病理部	部長	29年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- (1) ・研修の主な内容 放射線技術講演会
  - ・研修の期間・実施回数 講演会：2時間程度、2回
  - ・研修の参加人数 講演会第1回：27名＋部外者参加2名、第2回 28名＋部外者参加49名
  
- (2) ・研修の主な内容 放射線部勉強会(水曜会)
  - ・研修の期間・実施回数 30分程度を16回
  - ・研修の参加人数 25名程度
  
- (3) ・研修の主な内容 放射線部整形外科合同カンファレンス
  - ・研修の期間・実施回数 30分程度を5回
  - ・研修の参加人数 25名程度
  
- (4) ・研修の主な内容 マンモグラフィ合同カンファレンス
  - ・研修の期間・実施回数 30分程度を11回
  - ・研修の参加人数 8名程度
  
- (5) ・研修の主な内容 心臓CTカンファレンス
  - ・研修の期間・実施回数 60分程度を8回
  - ・研修の参加人数 7名程度

(6) ・研修の主な内容 MR対応ペースメーカー勉強会

・研修の期間・実施回数 60分程度を2回

・研修の参加人数 30名程度

(7) ・研修の主な内容 MR勉強会

・研修の期間・実施回数 60分程度を4回

・研修の参加人数 5名程度

(8) ・研修の主な内容 ネットワーク勉強会

・研修の期間・実施回数 60分程度を1回

・研修の参加人数 17名程度

(9) ・研修の主な内容 データ検討会

・研修の期間・実施回数 60分程度を8回

・研修の参加人数 20名程度

(10) ・研修の主な内容 新採用者研修オリエンテーション

・研修の期間・実施回数 4月1日～4月4日

・研修の参加人数 69名

(11) ・研修の主な内容 看護記録システム研修 (看護過程支援システムの概要と操作方法についての研修)

・研修の期間・実施回数 4月5日、8日

・研修の参加人数 60名

- (12) ・研修の主な内容 薬剤研修ステップ①（リスクマネジメントの視点から与薬管理を学ぶ）
- ・研修の期間・実施回数 4月23日
  - ・研修の参加人数 66名
- (13) ・研修の主な内容 防火訓練（火災、地震時等の対応と初期消火活動について学ぶ）
- ・研修の期間・実施回数 4月30日
  - ・研修の参加人数 69名
- (14) ・研修の主な内容 臨床看護での安全対策（臨床看護でのリスク管理について学ぶ）
- ・研修の期間・実施回数 5月21日
  - ・研修の参加人数 62名
- (15) ・研修の主な内容 2か月目の振り返り（入職後のお互いの精神的ストレスを理解し、その解決の方策・方向性が見出す）
- ・研修の期間・実施回数 6月10日
  - ・研修の参加人数 67名
- (16) ・研修の主な内容 救急蘇生（救急蘇生の知識、技術について学ぶ）
- ・研修の期間・実施回数 6月17日
  - ・研修の参加人数 57名
- (17) ・研修の主な内容 薬剤研修ステップ②（リスクマネジメントの視点から与薬管理を学ぶ）

・研修の期間・実施回数 7月17日

・研修の参加人数 60名

(18) ・研修の主な内容 輸血の取り扱い（リスクマネージメントの視点から輸血の取り扱いに関する基本的な知識を学ぶ）

・研修の期間・実施回数 8月6日

・研修の参加人数 62名

(19) ・研修の主な内容 6か月目の振り返り（自己の成長を認識し、同期の成長を認め、次の課題を見出す）

・研修の期間・実施回数 9月27日

・研修の参加人数 65名

(20) ・研修の主な内容 医材センター研修（医材センターの役割、業務を理解し、滅菌物の取り扱い方について学ぶ）

・研修の期間・実施回数 10月-11月

・研修の参加人数 64名

(21) ・研修の主な内容 看取りの看護（看取りの看護に必要な基本的な知識とその方法を学ぶ）

・研修の期間・実施回数 12月2日

・研修の参加人数 58名

(22) ・研修の主な内容 人工呼吸器の基礎知識（人工呼吸器装着患者看護のための基礎知識を学ぶ）

・研修の期間・実施回数 1月17日

・研修の参加人数 56名

(23) ・研修の主な内容 1年目の振り返り（自己の成長を確認し、次の課題を明確にする）

・研修の期間・実施回数 3月10日

・研修の参加人数 49名

(24) ・研修の主な内容 技術演習（感染対策、清潔操作）

・研修の期間・実施回数 4月9日

・研修の参加人数 61名

(25) ・研修の主な内容 技術演習（点滴準備）

・研修の期間・実施回数 4月9日

・研修の参加人数 61名

(26) ・研修の主な内容 技術演習（静脈血採血）

・研修の期間・実施回数 4月19日

・研修の参加人数 63名

(27) ・研修の主な内容 技術演習（輸液ポンプ、シリンジポンプ）

・研修の期間・実施回数 4月19日

・研修の参加人数 61名

(28) ・研修の主な内容 技術演習（体位変換）

・研修の期間・実施回数 5月14日

・研修の参加人数 62名

(29) ・研修の主な内容 技術演習（皮下注射、筋肉注射）

・研修の期間・実施回数 5月14日

・研修の参加人数 64名

(30) ・研修の主な内容 技術演習（フィジカルアセスメント）

・研修の期間・実施回数 5月28日

・研修の参加人数 65名

(31) ・研修の主な内容 技術演習（経管栄養管理）

・研修の期間・実施回数 5月28日

・研修の参加人数 62名

(32) ・研修の主な内容 技術演習（吸引・吸入）

・研修の期間・実施回数 6月25日

・研修の参加人数 59名

(33) ・研修の主な内容 技術演習（導尿）

・研修の期間・実施回数 6月25日

・研修の参加人数 60名

(34) ・研修の主な内容 技術演習（静脈留置針の挿入）

・研修の期間・実施回数 7月31日

・研修の参加人数 58名

- (35) ・研修の主な内容 フォローアップ研修
- ・研修の期間・実施回数 8月20日、8月21日、9月10日、10月11日、10月21日、11月13日、  
12月11日
  - ・研修の参加人数 延べ39名
- (36) ・研修の主な内容 技術演習（心電図モニター）
- ・研修の期間・実施回数 11月8日
  - ・研修の参加人数 58名
- (37) ・研修の主な内容 多重課題シミュレーションⅠ
- ・研修の期間・実施回数 7月2日
  - ・研修の参加人数 58名
- (38) ・研修の主な内容 多重課題シミュレーションⅡ
- ・研修の期間・実施回数 2月21日
  - ・研修の参加人数 55名
- (39) ・研修の主な内容 プリセプター研修①（プリセプターの目的、役割について学ぶ）
- ・研修の期間・実施回数 3月25日
  - ・研修の参加人数 44名
- (40) ・研修の主な内容 プリセプター研修②（プリセプターとしての必要な知識・能力・態度を養う）
- ・研修の期間・実施回数 6月5日
  - ・研修の参加人数 42名

- (41) ・研修の主な内容 プリセプター研修③（今後6か月の具体的な目標設定の方法について学ぶ）
- ・研修の期間・実施回数 9月19日
  - ・研修の参加人数 41名
- (42) ・研修の主な内容 プリセプター研修④（プリセプターの役割について再確認し、今後の課題を明確にする）
- ・研修の期間・実施回数 3月21日
  - ・研修の参加人数 31名
- (43) ・研修の主な内容 看護研究基礎コース（倫理的配慮を含む実践計画書の準備ができ、看護研究に必要な基本的な知識を学ぶ）
- ・研修の期間・実施回数 2月17日
  - ・研修の参加人数 36名
- (44) ・研修の主な内容 看護研究を完成させる実践コース①～③
- ・研修の期間・実施回数 4月22日、5月29日、10月16日
  - ・研修の参加人数 延べ112名
- (45) ・研修の主な内容 リーダーシップ基礎
- ・研修の期間・実施回数 6月25日
  - ・研修の参加人数 29名
- (46) ・研修の主な内容 リーダーシップ実践

- ・研修の期間・実施回数 7月29日
  - ・研修の参加人数 29名
- (47) ・研修の主な内容 2年目の振り返り①（事例検討を通して、自己の看護倫理観を高める）
- ・研修の期間・実施回数 10月4日
  - ・研修の参加人数 43名
- (48) ・研修の主な内容 2年目の振り返り②（日々の看護を振り返り、自己の看護観を高める）
- ・研修の期間・実施回数 3月5日
  - ・研修の参加人数 44名
- (49) ・研修の主な内容 3年目の振り返り（部署での自分の役割を理解する）
- ・研修の期間・実施回数 3月8日
  - ・研修の参加人数 55名
- (50) ・研修の主な内容 クリティカルケア院内研修（一般病棟では経験できない看護技術を経験し、急変対応に必要なアセスメント能力について理解する）
- ・研修の期間・実施回数 1月～3月の月～金の連続5日間
  - ・研修の参加人数 9名
- (51) ・研修の主な内容 看護研究を支援するスキルを養う研修
- ・研修の期間・実施回数 2月24日
  - ・研修の参加人数 53名
- (52) ・研修の主な内容 看護記録①（看護記録の本来の意味及び記録監査を行う意義とその考

え方を学ぶ)

- ・研修の期間・実施回数 5月14日
  - ・研修の参加人数 97名
- (53) ・研修の主な内容 看護記録② (当院看護記録マニュアルの基本的ルールを学ぶ)
- ・研修の期間・実施回数 9月13日
  - ・研修の参加人数 80名
- (54) ・研修の主な内容 チーム医療と組織での役割
- ・研修の期間・実施回数 1月29日
  - ・研修の参加人数 20名
- (55) ・研修の主な内容 看護管理研修
- ・研修の期間・実施回数 12月7日
  - ・研修の参加人数 84名
- (56) ・研修の主な内容 昇任管理者研修オリエンテーション
- ・研修の期間・実施回数 3月12日
  - ・研修の参加人数 5名
- (57) ・研修の主な内容 院内看護管理入門研修
- ・研修の期間・実施回数 4月24日、5月22日、6月26日、7月24日、8月28日、9月25日、  
10月23日、11月27日、12月18日、1月22日
  - ・研修の参加人数 延べ318名

- (58) ・研修の主な内容 酸素療法（酸素療法についての基本的な知識を習得する）
- ・研修の期間・実施回数 8月7日
  - ・研修の参加人数 62名
- (59) ・研修の主な内容 院内看護研究発表会（看護研究発表会を通して看護の質の向上、発展、創造性を求めて互いに研鑽を積む）
- ・研修の期間・実施回数 1月25日
  - ・研修の参加人数 251名
- (60) ・研修の主な内容 院内ICLS研修
- ・研修の期間・実施回数 5月13日、6月6日、7月1日、8月1日、9月2日、10月3日、11月11日、12月5日、1月6日、2月6日、3月3日
  - ・研修の参加人数 延べ68名
- (61) ・研修の主な内容 心電図基礎コース（心電図についての知識を習得し、看護実践に活かす能力を養う）
- ・研修の期間・実施回数 5月11日、18日
  - ・研修の参加人数 29名
- (62) ・研修の主な内容 心電図ステップアップコース
- ・研修の期間・実施回数 6月1日
  - ・研修の参加人数 16名
- (63) ・研修の主な内容 がん看護セミナー
- ・研修の期間・実施回数 6月11日

・研修の参加人数 87名

(64) ・研修の主な内容 看護必要度研修①

・研修の期間・実施回数 7月16日、22日

・研修の参加人数 270名

(65) ・研修の主な内容 看護必要度研修②

・研修の期間・実施回数 12月9日、17日

・研修の参加人数 199名

(66) ・研修の主な内容 褥瘡予防とスキンケア（褥瘡予防に関するポジショニングとスキンケア）

・研修の期間・実施回数 7月9日、9月25日、1月27日

・研修の参加人数 延べ340名

(67) ・研修の主な内容 報告会①②（医療や看護の動向及び専門的知識を習得する）

・研修の期間・実施回数 9月5日、2月20日

・研修の参加人数 延べ247名

(68) ・研修の主な内容 退院調整と地域連携（入院時より退院を見据えた支援を行うことの重要性を理解し、その方法を学ぶ）

・研修の期間・実施回数 10月15日

・研修の参加人数 67名

(69) ・研修の主な内容 「看護現場学」講演会

・研修の期間・実施回数 11月9日

・研修の参加人数 118名

(70) ・研修の主な内容 院内認定看護師コース（がん看護・救急看護）

・研修の期間・実施回数 7月23日、9月24日、11月26日、2月25日

・研修の参加人数 延べ70名

## ② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

(1) ・研修の主な内容 院内機能と組織、看護助手業務の概要、接遇、コミュニケーション

・研修の期間・実施回数 4月10日

・研修の参加人数 56名

(2) ・研修の主な内容 安全・個人情報保護、グループワーク

・研修の期間・実施回数 5月7日

・研修の参加人数 57名

(3) ・研修の主な内容 感染対策

・研修の期間・実施回数 6月4日

・研修の参加人数 58名

(4) ・研修の主な内容 日常生活に関わる業務（環境整備、清潔、排泄、食事等）

・研修の期間・実施回数 7月3日

・研修の参加人数 58名

(5) ・研修の主な内容 GW (接遇、コミュニケーションについて)

・研修の期間・実施回数 7月30日

・研修の参加人数 60名

(6) ・研修の主な内容 移送

・研修の期間・実施回数 9月4日

・研修の参加人数 61名

(7) ・研修の主な内容 一次救命措置

・研修の期間・実施回数 10月2日

・研修の参加人数 61名

(8) ・研修の主な内容 GW (1年間のふりかえり)

・研修の期間・実施回数 3月18日

・研修の参加人数 59名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務

する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 田口 敏彦	
管理担当者氏名	総務課長 久保 公四郎 医事課長 水津 賢治	

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録		
病院日誌	総務課	紙媒体のカルテは入院、外来別に1患者1ファイル方式として、保存整理している。 2009年9月より順次電子カルテシステムに移行し、移行後は電子媒体で保管している。
処方せん	薬剤部	
手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療録センター 医療情報部	
各科診療日誌、エックス線写真	各診療科	
病院の管理及び運営に関する諸記録	総務課	
従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
高度の医療の提供の実績	医事課	
高度の医療技術の開発及び評価の実績	学術研究部研究推進課 小串地区研究・運営支援室	
高度の医療の研修の実績	総務課	
閲覧実績	総務課	
紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御室
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室
	各号及び第九條	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第二十三條	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第一項	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理センター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理センター	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理センター	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	病院長 田口 敏彦		
閲覧担当者氏名	総務課長 久保 公四郎 医事課長 水津 賢治		
閲覧の求めに応じる場所	医学部本館 2階 相談室 外来診療棟 1階 患者相談室		
閲覧の手続の概要 ・ 閲覧申込 閲覧申込書を総務課総務係に提出する ・ 承認者 病院長 ・ 閲覧方法 指定した日時・場所で行う ・ 返納方法 当日返納とし、総務課総務係に返納する			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容：医療事故防止規則、医療安全管理委員会、マニュアル等の整備。	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容：医療事故防止、医療訴訟の対策に関することを審議。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容：H26.5.27、H26.7.2 医療安全講習会実施 上記以外にVTR講習会も数回行い、曜日、時間帯を変え 医療従事者の年2回受講を促している。	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療安全推進室を中心に新規の様式作成や、運用上のマニュアル、フロー図等の改善策の策定 を行い、状況に応じて、各部署の意見等を取り入れ実行可能なものとしている。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 3名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 6名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員：専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 1 ) 名 ・ 活動の主な内容： ・ 医療事故防止に関すること。 ・ 重大な又は、部門を横断する医療事故発生後の対応・調整。 ・ 医療安全に関する教育・啓発等に関すること。 ・ 医療安全の全国ネットワークに関すること。	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

### 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 感染対策に関する基本的考え方</li><li>(2) 医療関連感染対策のための委員会の組織に関する基本的事項</li><li>(3) 医療関連感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針</li><li>(4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>(5) 医療関連感染発生時の対応に関する基本方針</li><li>(6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li><li>(7) 本病院における医療関連感染対策の推進のために必要な基本方針</li></ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 感染の予防に関すること</li><li>(2) 予防対策実施の指導に関すること</li><li>(3) 感染予防の教育に関すること</li><li>(4) 職員の検診とその実施に関すること</li><li>(5) 検診結果に基づく判定及び事後指導に関すること</li><li>(6) 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること</li><li>(7) 山口大学医学部附属病院感染制御室の管理及び運営に関すること</li></ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 医療関連感染防止のための基本的知識の習得</li><li>(2) 処置別感染防止のための基本的知識の習得と最新の情報を知る</li><li>(3) 抗菌薬の適正使用に関連したこと</li><li>(4) 職業感染対策について</li></ol> <p>平成 25 年度については、以下の内容で全職員を対象として研修を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>①研修会 開 催 日：平成25年 4月24日 テ ー マ：「感染対策の基本」 講 師：院内講師 ビデオ講習：平成25年5月13日、平成25年7月12日、平成25年9月19日、平成26年2月10日</li><li>②研修会 開 催 日：平成25年10月 8日 テ ー マ：「MR S Aから患者を守る！～感染予防策，検査の解釈と治療～」 講 師：院外講師 ビデオ講習：平成25年11月5日、平成25年12月4日、平成25年12月9日、平成26年1月10日</li></ol> <p>※平成26年3月、未受講の職員にDVDを送付し視聴してもらい、部署ごとに視聴を証明してもらった。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( 有・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 収集した各データや問題点を I C T 会にて検討している。</li><li>・ 対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案、協議をしている。</li></ul>	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況			☑・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況			年 7 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の主な内容：平成 25 年度については、以下の内容で研修を実施した。</li> </ul>			
研修日	対象者	研修内容	講師
25. 04. 02	研修医	薬剤部の利用について 処方箋の取扱いについて 麻薬の取扱いについて	薬剤部長 副薬剤部長
25. 04. 02	医療職員新採用者	薬剤部の機構と運営	薬剤部長 副薬剤部長
25. 04. 21	看護師	薬剤の管理 ―リスクマネジメントの観点から―	注射調剤主査
25. 04. 26	全職員	臨時医療安全研修会「これだけは守ってほしい麻薬の取扱いのルール」	副薬剤部長
25. 05. 29	新採用医師	薬による事故を起こさないために	副薬剤部長
26. 01. 16	看護師	薬物動態、抗がん剤、RIでの薬剤師の活動について	病棟担当薬剤師
26. 02. 19	看護師	院内における薬剤部の働きおよび1-6Wで多用される薬剤の特質性と注意点	病棟担当薬剤師
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>手順書の作成 (☑・無)</li> <li>業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 医薬品の適正な採用</li> <li>(2) 医薬品の適正な管理</li> <li>(3) 処方箋への記載・投与指示と調剤</li> <li>(4) 患者への適正な投与と服薬に関する指導(薬剤管理指導)</li> <li>(5) 医薬品の適正使用のための情報管理(安全性情報収集と提供)</li> <li>(6) 他の医療提供施設との連携</li> </ul> </li> </ul>			
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品に係る情報の収集の整備 (☑・無)</li> <li>その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 医薬品を適正に使用するため、医薬品の安全性情報と患者情報の収集を行う。</li> <li>(2) 経過観察が必要な薬剤の投与にあたっては、投与中・投与後の経過観察を継続して行う。</li> <li>(3) 特に、発売1年以内の新薬については、副作用のモニタリングを行う。</li> <li>(4) 特定薬剤の血中濃度モニタリングを実施する。</li> <li>(5) 薬剤部より月1回「DI EXPRESS」を発行している。</li> <li>(6) 処方オーダーなど病院情報システムを利用するものについては、医療情報部と連携し、情報を当該端末機にホームページでお知らせする。</li> <li>(7) リスクマネージャー連絡会議などを通じて事故防止対策を周知している。</li> </ul> </li> </ul>			

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 18 回
・ 研修の主な内容： 有効性・安全性に関する事項 使用方法に関する事項 保守点検に関する事項 不具合が発生した場合の対応 法令上遵守すべき事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ) ・ 保守点検の主な内容： 使用前点検、使用中点検、定期点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 「MEだより」の配布 「医療機器安全だより」(メーリングリスト)の配信 回収・改修情報の周知 等	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 平成26年4月4日付けで「病院機能評価 (機能種別版評価項目3rdG : Ver. 1.0) 一般病院 2」に認定。	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 HP、冊子等の広報媒体を通して、情報を発信している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 他科とのコンサルテーション	